

平成26年度 事業報告書

平成27年 5月

社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会

2014年（平成26年）度事業報告

主な事業活動として下記の取り組みを行うとともに別紙のとおり報告いたします。

参照ページ

1. 地域福祉活動		
①	社協の地域福祉活動計画と市の地域福祉計画が一体化して、「第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画 みんなで動こう 動けば変わる」を策定しました。『多彩な人材が地域で活躍～豊かな経験が地域で役立つボランティア活動～』という基本理念と、4つの基本目標と14の方策を掲げました。	p5
②	地域福祉推進委員会（福祉部会）、地域ケア会議、コミュニティ福祉部会への職員の会議出席総数は、398回（前年度372回）に上ります。現在、地域ではニセ電話詐欺への対策や認知症の人を支える仕組みづくりが喫緊の課題となっています。	p8
③	地域のサロン活動の新たなメニューとして「コミュニケーションマージャン講習会」を昨年に引き続き開催しました。また地域のニーズに対応できるよう、マージャンセットを新たにもう1セット導入し、参加者の多い地域や団体への貸し出しが行えるようになりました。（貸し出し状況 延べ11地区、7団体）	p17
④	認知症の方と家族が抱える問題を地域で支えていけるよう、認知症に対する正しい理解を深めるとともに、認知症の人が行方不明になった初動時にどう対応するか、またどういう声掛けをしたらいいかを地域全体で学ぶ場として、市内で初めて先駆的に上大利区で「認知症徘徊搜索トレーニング」を開催し、市内外より約150名の方が参加しました。	p19
2. 福祉教育		
①	地域主体の学びの場として、福祉の出席講座「ふーちゃんゼミナール」の啓発に努め、推進委員会等からの依頼を受け、「地域福祉推進活動とは？」や「福島県南相馬市の今」などをテーマに開催しました。また、今年度から、筑紫地区人権擁護委員会や筑紫地区薬剤師会の協力を頂き、新たなプログラムの拡充を図りました。（開催回数10回 参加者延べ551名）	p16
②	学校における福祉教育については、県社協のモデル指定を受け、学習院大学より講師を迎え「福祉教育基礎研修会」を開催しました。この研修会では、市内の小学校からの実践報告を行い、学校と地域と社協の連携が重要な役割になることを学びました。また研修会には市内小中学校の教職員の他、各区の福祉委員も出席しました。研修会后、各小学校で行われる福祉教育においても、地域の福祉委員や民生委員に積極的に参加して頂いています。	p29
3. 共同募金運動		
	初めての取り組みとして、9月に「共同募金のつどい」を開催し、10月から始まる共同募金への意識高揚を図るとともに、各コミュニティごとに企業募金推進会議を行いました。また、筑紫中央高校生徒会の協力により、街頭募金を行うなど、新たな取り組みを実施しました。なお、区長会等の協力により戸別募金の実績（前年比）が伸び、前年を上回る実績となりましたが、全国的に共同募金は景気低迷等をうけ、厳しい状況にあることから、共同募金配分検討委員会を設置し、団体配分等について今後の方向性を検討しました。	p31
4. 生活福祉資金貸付事業		
	生活福祉資金の貸付額は、減少傾向にあるものの、申込件数はほぼ横ばい状態となっています。貸付には至らないまでも生活に困窮する人の中にはその日の暮らし（食べ物）に困っている人が、飛び込みで相談にみえることもあり、緊急的な対応を行うケースが生じています。	p37
5. 東北の応援		
	東北応援&復興陳情の旅 私たちは忘れない!!のスローガンのもと、南相馬市や会津若松を訪問するとともに、衆議院議員会館において、復興庁職員へ復興の強化を参加者でお願いをしました。また、総合福祉センターロビーでの支援品販売等による福島応援も継続しています。	p38

6. ボランティアセンター		
①	ボランティアセンターを活動拠点として登録しているグループの拡充を図り、新たに4つのグループが仲間入りしました。（現在14団体 会員325名）今後も、ボランティア同士顔が見える関係づくりを深めながら、ボランティアセンターの機能強化を図っていきます。また、ボランティアセンター運営委員会では、「第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画」を主な議題として取り上げ、特にボランティアエントリースシステムの構築に向け、活発な意見（提案）が行われました。	p40
②	ひとり親家庭の小中学生を対象とした学習支援教室（実施：福岡県母子寡婦福祉連合会）において、学習支援ボランティアの募集などを行い、総合福祉センターで開催されている学習支援教室のバックアップを継続しています。また、学習支援ボランティアの中から自発的にコミュニティセンターで学習支援に取り組むボランティアを始める人もあり、ボランティアセンターとしても支援を行っています。	p41
7. 総合相談事業		
	心配ごと相談、ふくし何でも相談、電話法律相談の相談状況は、若干落ち着いてきています。弁護士への相談においては、財産問題の相談が増加傾向にあります。また、社協の広域的ネットワークを活用した個別支援も行っています。	p45
8. 介護サービス事業		
	介護保険制度の改正により、サービスが減少し、収支は厳しい状況になりましたが、収支のバランスを保てるよう、今後とも経営努力を重ねていきます。なお、介護サービスに従事する職員は、コミュニティで実施されている総合避難訓練や上大利区の「認知症徘徊捜索トレーニング」にもスタッフとして積極的に協力しています。今後とも地域福祉活動の視点に基づいた社協らしい介護サービス事業を展開していきます。	p47
9. 寄附等		
	地域福祉活動の財源となる社協会員については、区長会をはじめとする関係団体や市民の皆さまの協力により、前年度実績を上回ることが出来ました。香典返しの寄附や指定寄附についても前年を上回ることが出来たものの、一般寄附については前年比48%となっています。なお、新たな取り組みとして、書き損じハガキ（封筒を活用）や不用入れ歯の回収による収益活動を開始しました。	p53

平成 2 6 年度職員体制

事務局長	1 名	
総務企画課	7 名	(内、嘱託 3 名)
地域課	1 3 名	(内、嘱託 3 名、非常勤 6 名)
介護サービス課	5 0 名	(内、非常勤 3 5 名)
総数	7 1 名	

平成26年度 大野城市社会福祉協議会 主な行事・会議等報告書

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
4	1	火		広報委員会	専門委員会
	7	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	9	水		福祉委員会	
	30	水		ボランティアセンター運営委員会	
			※地域ケア会議・・・7地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・14地区	
5	12	月		広報委員会	専門委員会
	14	水	平成25年度下半期監査		
	16	金		総務委員会	専門委員会
	17	土		ボランティアセンター運営委員会	
	20	火		正副会長会	
	28	水		理事会	
	29	木		評議員会	
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・16地区	
6	2	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	5	木		広報委員会	専門委員会
				ボランティアセンター運営委員会	
	11	水		福祉委員会	
	14	土	社協職員研修(接遇)		
	23	月	共同募金配分金交付式		
	26	木		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	30	月	重度障がい者リフレッシュ事業		
			※地域ケア会議・・・13地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・16地区	
7	3	木	コミュニケーションマージャン講習会		
	6	日	夏っ子クラブ・小中ふれあいの旅事前研修会		
	8	火		ボランティアセンター運営委員会	
	11	金		広報委員会	専門委員会
	14～16	月～水	東北応援ツアー		
	25	金	夏っ子クラブ①(ハンディを持つ子どもたちの一時預かり事業)		
	29	火	夏っ子クラブ②		
	31	木	大牟田市駿馬南校区社協会長打ち合わせ		
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・11地区	
8	1	金	夏っ子クラブ③		
	4	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	5	火	夏っ子クラブ④		
	6	水		広報委員会	専門委員会
	7	木	福祉教育基礎研修会		
	8	金	夏っ子クラブ⑤		
	12	火	夏っ子クラブ⑥		
	19	火	夏っ子クラブ⑦		
	22	金	夏っ子クラブ⑧		
	23～24	土～日	小中ふれあいの旅2014		
	26	火	夏っ子クラブ⑨		
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・12地区	
9	1	月		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	5	金	共同募金啓発ポスター選考会		
	6	土	赤い羽根共同募金のつどい		
	7	日	夏っ子クラブ・小中ふれあいの旅報告会		
	8	月		広報委員会	専門委員会
	21	日	大牟田市認知症徘徊模擬訓練視察見学		

平成26年度 大野城市社会福祉協議会 主な行事・会議等報告書

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
	22	月		福祉事業委員会 ボランティアセンター運営委員会	専門委員会
	27～28	土～日	おおの山城大文字まつり		
			※地域ケア会議・・・7地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・14地区	
10	1	水	赤い羽根共同募金運動開始		
	3	金		広報委員会	専門委員会
	6	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	8	水		福祉委員会	
	9	木		共同募金配分検討委員会	
	19	日	翔んでふれあって2014		
	26	土	ふれあいの旅2014事前研修会		
	31	金	北地区企業募金推進会議		
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・16地区	
11	1	土	まどかフェスティバル(共同募金啓発)		
	2	日	まどかフェスティバル(福島応援ショップ)		
	5	水	南地区企業募金推進会議		
	8・9	土・日	ふれあいの旅2014		
	12	水		広報委員会	専門委員会
			中央地区企業募金推進会議		
	13	木	東地区企業募金推進会議		
	14	金	北地区番茶の会		
	15	土	中央地区番茶の会		
	17	月	東地区番茶の会		
	19	水		共同募金配分検討委員会	
	24	月・祝		ボランティアセンター運営委員会	
	26	水	南地区番茶の会		
	30	日	第15回大野城市総合福祉まつり		
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・16地区	
12	1	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	3	水	上半期監査		
	5	金		広報委員会	専門委員会
	7	日	ふれあいの旅2014報告会		
	10	水		福祉委員会	
	11	木		共同募金配分検討委員会	
	13	土		社協職員研修(危機管理研修)	
	18	木		福祉事業委員会	専門委員会
	19	金		理事会 評議員会	
	22	月	上大利区認知症サポーター養成講座		
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・14地区	
1	10	土		社協職員研修(人権研修)	
	17	土	上大利区認知症を理解する講座		
	19	月		広報委員会	専門委員会
	22	木		共同募金配分検討委員会	
	25	日	南相馬市ボランティアフェスティバル職員参加		
			※地域ケア会議・・・9地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・12地区	

平成26年度 大野城市社会福祉協議会 主な行事・会議等報告書

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
2	2	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	4	水	第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画説明会		
	6	金		広報委員会	専門委員会
	8	日	上大利区認知症徘徊搜索トレーニング		
	23	月		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	27	金		ボランティアセンター運営委員会	
			※地域ケア会議・・・14地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・15地区	
3	8	日	中央地区総合避難訓練		
	11	水	中央地区復興の夕べ		
	12	木	在宅介護者のつどい		
	16	月		総務委員会	専門委員会
				福祉事業委員会	専門委員会
	17	火		広報委員会	専門委員会
				正副会長会	
	21	土	ふーちゃんカフェ		
	23	月		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	26	木		理事会	
	30	月		評議員会	
			※地域ケア会議・・・7地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・11地区	

平成26年度 事業報告書



目 次

「平成26年度事業報告（概要）」

I. 法 人

- 1. 理事会・評議員会等 1
- 2. 専門委員会 3
- 3. 情報公開 4

II. 事業・活動

- 4. 地域福祉推進事業 5
- 5. 広報関係 20
- 6. 法外援護対策事業 20
- 7. 身体障がい者福祉対策事業 21
- 8. 知的障がい児者福祉対策事業 ... 22
- 9. 高齢者福祉対策事業 23
- 10. 子育て支援事業 24
- 11. 児童青少年福祉対策事業 27
- 12. 福祉教育 27
- 13. 父母子福祉対策事業 30
- 14. 在宅介護者支援事業 30
- 15. 平成26年度共同募金運動 31
- 16. 福祉機器貸出事業 34
- 17. 福祉機器リサイクル事業 34
- 18. 移送サービス事業 35
- 19. ハンディキャブ貸出事業 35
- 20. 福祉食事サービス 36
- 21. 福祉バス運行事業 36
- 22. 生活福祉資金貸付事業 37
- 23. 被災地支援活動 38

III. ボランティアセンター事業

- 24. ボランティア活動推進 40
- 25. 声の広報 44

IV. 総合相談事業

- 26. 総合相談事業 45

V. 介護サービス事業

- 27. 介護サービス事業 47

VI. 総合福祉センター

- 28. 総合福祉センター 49

VII. 権利擁護事業

- 29. 日常生活自立支援事業 52
- 30. 法人後見事業についての調査研究事業... 52

VIII. 寄附採納事業

- 31. 寄附採納事業 53

IX. その他の事業

- 32. 第15回大野城市総合福祉まつり... 54
- 33. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ ... 54
- 34. 職員の資格（取得）状況 55
- 35. 職員内部研修 56

【資 料】

- 別表1. 社協会員推進状況 57
- 別表2. 介護サービス状況 58
- 別表3. ほっとサポート状況 61
- 別表4. 介護サービス研修会開催状況...62
- 別表5. 福祉食事サービス利用状況 ... 63
- 別表6. 職員研修参加等実績 64

I . 法 人

理事会・評議員会等		1
専門委員会		3
情報公開		4

1. 理事会・評議員会等

任期は、平成25年6月1日から平成27年5月31日まで。

1 理事会開催状況（理事総数 13名）

開催年月日			議 題		出席者
平成 26 年	5月28日	第1回	第1号議案	平成25年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	13名
			第2号議案	平成25年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会一般会計決算書及び監査報告について	
	12月19日	第2回	第3号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員の選任(同意)について	12名
			第4号議案	平成26年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正(案)について	
			第5号議案	第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画(案)について	
			第6号議案	平成26年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算(案)について	
平成 27 年	3月26日	第3回	第7号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正(案)について	12名
			第8号議案	障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業の指定特定相談支援運営規程の一部改正(案)について	
			第9号議案	児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業社会福祉法人大野城市社会福祉協議会運営規程(案)の制定について	
			第10号議案	平成27年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業計画書(案)について	
			第11号議案	平成27年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支予算(案)について	

正副会長会の開催 …… 打合せ会議を3回開催
理事会・評議員会の議案の事前審議

2 監事会の開催状況

開催年月日		監 査 内 容	出席者
平成 26 年	5月14日	平成25年度の会計決算監査	2名
	12月 3日	平成26年度の会計中間監査	2名

3 評議員会開催状況 （評議員総数 31名）

開催年月日			議 題	出席者
平成 26 年	5月29日	第1回	第1号議案 平成25年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	21名
			第2号議案 平成25年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会一般会計決算書及び監査報告について	
	12月19日	第2回	第3号議案 平成26年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正(案)について	20名
			第4号議案 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画(案)について	
			第5号議案 平成26年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算(案)について	
平成 27 年	3月30日	第3回	第6号議案 社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正(案)について	23名
			第7号議案 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業の指定特定相談支援運営規程の一部改正(案)について	
			第8号議案 児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業社会福祉法人大野城市社会福祉協議会運営規程(案)の制定について	
			第9号議案 平成27年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業計画書(案)について	
			第10号議案 平成27年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支予算(案)について	

2. 専門委員会

1 専門委員会開催状況

委員会名	開催年月日	議 題
総務委員会	平成26年 5月16日	・平成25年度一般会計資金収支予算の専決補正について ・平成25年度事業報告書・決算書について
	平成27年 3月16日	理事会・評議員会の議案確認 ・給与規程の改正(案)について ・指定特定相談支援事業運営規程改正(案)について ・指定障害児相談支援事業運営規程(案)について ・平成27年度事業計画書(案)について ・平成27年度予算(案)について
福祉事業委員会	平成26年 9月22日	・(仮称)地域福祉活動における市民活動推進計画について ・共同募金配分検討委員会の委員の選任について
	平成26年12月18日	・第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画 みんなで動こう 動けば変わる(案)について
	平成27年 3月16日	・平成26年度地域福祉活動の振り返り ・平成27年度大野城市社会福祉協議会事業計画書(案)について
広報委員会	平成26年 4月 1日 平成26年 5月12日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(145号) 2014. 6.1号
	平成26年 6月 5日 平成26年 7月11日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(146号) 2014. 8.1号
	平成26年 8月 6日 平成26年 9月 8日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(147号) 2014.10.1号
	平成26年10月 3日 平成26年11月12日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(148号) 2014.12.1号
	平成26年12月 4日 平成27年 1月19日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(149号) 2015. 2.1号
	平成27年 2月 6日 平成27年 3月17日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(150号) 2015. 4.1号

3. 情報公開

平成13年より情報公開に取り組み、市民の福祉活動への理解と信頼及び積極的な参加を促進することを目的として行っています。

1 状 況

◇ 情報公開請求人 0名

情報公開請求件数:0件

処理状況:情報公開決定通知:0件

2 情報公開請求 0回

Ⅱ．事業・活動

地域福祉推進事業	5
広報関係	20
法外援護対策事業	20
身体障がい者福祉対策事業	21
知的障がい児者福祉対策事業	22
高齢者福祉対策事業	23
子育て支援事業	24
児童青少年福祉対策事業	27
福祉教育	27
父母子福祉対策事業	30
在宅介護者支援事業	30
平成 26 年度共同募金運動	31
福祉機器貸出事業	34
福祉機器リサイクル事業	34
移送サービス事業	35
ハンディキャブ貸出事業	35
福祉食事サービス	36
福祉バス運行事業	36
生活福祉資金貸付事業	37
被災地支援活動	38

4. 地域福祉推進事業

大野城市の高齢化率は約19%ですが、地域によっては40%に近づく区もあり、地域的な差が目立ってきています。また、貧困や経済的格差の拡大、認知症や障がいなどにより判断能力が不十分な人の増加によって、地域福祉における権利擁護の取り組みの強化が求められています。様々な課題解決に向け、市民の参加、参画こそが重要な鍵を握るため、計画的に事業活動を推進していくことが重要となっています。

平成26年度実績

1 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画～みんなで動こう 動けば変わる～の策定

本計画は、平成24年から市と計画策定の意義や計画の位置づけについて協議を行い、市と社協において一体的に策定することとしました。平成25年にワークショップを行い、それを基に本計画の素案を市(福祉課)と社協でまとめ、平成26年にそれを様々な団体等へヒヤリングを行い、また最終的にパブリックコメントも募集し、修正・加筆を得て、平成27年3月末に本計画が完成しました。

この計画では、基本理念を、『多彩な人材が地域で活躍～豊かな経験が地域で役立つボランティア活動～』とし、4つの基本目標を次のように掲げ、14の方策を立てました。

◎目標1 知ることから始めよう

市や社会福祉協議会は、市民の身近な施設や学校などの中で、高齢者や障がいのある人、子育てをしている家庭など、様々な福祉テーマについて効果的で継続的な福祉教育を進めます。

◎目標2 人と人をつなげよう

市や社会福祉協議会は、地域の福祉活動を行っている市民や関係機関・団体を支援するとともに、相互の連携を強化し、地域の福祉力を高めることが出来るよう、ボランティアセンターを中心とした人材の掘り起し、ボランティアのコーディネートや活動する人たちの交流機会の拡充に努めます。

◎目標3 みんなで支え合おう

助け合い活動は、公的福祉の代替ではなく、活動を通して、孤立している人々となつがり、その人と地域社会のつながりを回復するという市民自身の活動であるからこそ可能な制度の枠にとらわれることのない働きを持っています。そのため、市民の地域参加を促進し、地域の日常的な見守り体制を基本とした地域福祉のネットワーク構築に努めます。

◎目標4 人としての尊厳と権利を守ろう

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人にとっては、金銭の管理や福祉サービスなどの利用が困難な場合があります。そのため、市民一人ひとりの権利と尊厳を守る権利擁護のシステムづくりを進めます。

Ⅱ－事業・活動

また本計画の策定後は、事業の成果を広く市民へ公表するとともに、計画を立て、事業の実行、事後の評価、見直しの過程を明らかにするために、市民参加型の進行管理機関『大野城市やすらぎのまち市民協議会』を設置し、課題の把握や解決策の協議を重ねながら、事業の着実な実施を目指し、必要があると認める場合は、計画の変更やその他の必要な措置を講じるようにします。

◇第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画（原案）完成に伴う市民説明会の開催

開催期日：平成27年2月4日（水） 13:30～15:30

場 所：大野城市総合福祉センター 大会議室

参加者数：99名

2 福祉委員会活動事業(第16期)

各区に1名の福祉委員を委嘱し、偶数月に定例会議を実施。

◇定例会の開催

期 日	内 容
平成26年 4月 9日(水)	市出前講座 かしこい消費者になろう～悪徳商法の被害を減らそう！～
平成26年 6月11日(水)	～ここに寄り添う～「聴き上手になる」講座 委嘱状交付
平成26年 8月 7日(木)	福祉教育基礎研修会
平成26年10月 8日(水)	緊急連絡カードについて
平成26年12月10日(水)	認知症疑似体験
平成27年 2月 4日(水)	第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画について

◇福祉委員会正副会長会の開催 2回開催

3 社会福祉協議会会員推進

◇会員推進状況

	一 般 会 員	賛 助 会 員	特 別 会 員	合 計
件 数	14,274 件	81 件	103 件	14,458 件
口 数	20,535 口	81 口	128 口	20,744 口
金 額	10,281,060 円	162,000 円	640,000 円	11,083,060 円

※会員推進状況の詳細については、巻末資料「別表1 平成26年度社協会員推進状況」P57 参照

4 福祉育成援助活動

27区の行政区に地域福祉活動助成金として社協会員会費及び共同募金配分金を交付。

5 地域ケア会議

目 的：高齢者の状況を中心に市(地域包括支援センター)、地域、民生委員、福祉委員、在宅介護支援センター、社会福祉協議会がさまざまな情報を共有し、地域での見守り活動や支援活動を推進することを目的に開催され、社協より地区担当者等が必ず出席しています。

地域ケア会議参加状況(開催回数 123回)

地区	地域名	開催回数	現状と課題
南地区	牛頸区	7 回	見守りが必要な高齢者に対して、福祉関係者だけでなく、隣近所の方々をはじめとする地域全体で見守りや支援をしているケースが多い。
	平野台区	3 回	防災への取り組みが先駆的であり、D I G (災害図上訓練)を通して災害に強い地域づくりを進めている。
	月の浦区	3 回	高齢化率は低いですが、気になる高齢者や対応が難しい事例も増えてきており、関係機関との連携や社会資源の活用が重要となってきた。
	南ヶ丘1区	6 回	ケア会議メンバーに主任児童委員や身障協からも出席しており、児童や障がい者等についても細かく情報交換が行われている。高齢者数がとても多いので敬老会を2部制とし開催した。
	南ヶ丘2区	12 回	組に加入していない家や集合住宅には回覧板等が回ってこないところがある。どうしても回覧板を回すことができない世帯には、公民館で個別対応等を行っている。
	つつじヶ丘区	5 回	情報が更新されていなかった名簿を見直し、全組長が協力して最新の町内名簿が完成している。今後の見守り活動への活用が期待される。
	若草区	6 回	地域の方から車両の寄付があり、区独自の青パトロール活動も展開している。ニセ電話詐欺も起きているので、改めて市全域で被害防止対策に取り組む必要がある。
中央地区	上大利区	5 回	人口・世帯数が多く、認知症の方や子どもの気になるケースなど幅広く話し合われている。市内で初めての「認知症徘徊搜索トレーニング」を実施した。
	下大利区	4 回	交通の便が良く、集合住宅も多い地域性からケース量が多いため、地域・民間サービス・公的機関の連携の必要性がますます高まっている。
	東大利区	4 回	高齢の親と子で暮らす世帯や、生活困窮事例など経済的な課題も含めて困難事例が話し合われることが増えている。
	下大利団地区	6 回	高齢化率が伸び続け外国人人口も多く、細やかな見守り活動・支援報告が共有されているが、住民どうしの見守りや文化理解が必要となっている。
	白木原区	6 回	オートロックのある集合住宅など見守り自体が難しい中、管理人等とも連携しながら見守り・支援をされた状況が話し合われている。
	瓦田区	6 回	一つ一つのケースが継続する困難事例が多く、地域と介護・福祉サービス職員による継続した見守り活動が続いている。

東地区	釜蓋区	1	回	ケア会議は少ないが、民生委員や福祉部員では担当を決めて見守り等を行っている。
	井の口区	8	回	今年度よりケア会議が定期的開催され、独自の見守り体制を進めながら細かな情報共有がなされている。
	中区	7	回	定期的なケア会議だけでなく緊急ケア会議なども行いながら個別のケース検討なども行っている。
	乙金区	1	回	今年度はケア会議が開催され情報の共有がおこなわれた。今後は定期的なケア会議開催が必要。
	乙金台区	4	回	定期的なケア会議が開催されている。民生委員を中心に細かな見守り活動がされている。
	乙金東区	1	回	福祉部会では見守り体制の検討が行われているが今後はケア会議にて細かな情報共有が必要。
	大池区	3	回	定期的なケア会議が開催され情報共有がされている。民生委員の欠員補充が必要。
北地区	上筒井区	6	回	民生委員がこまめに見守り訪問され、対象者の状況把握ができています。
	下筒井区	4	回	区の三役も熱心に討議されているが、今後民生委員との情報共有が更に必要。
	山田区	1	回	地域福祉推進委員会が情報共有の場となっているため、ケア会議の開催は少ないが、今後は年3～4回開催される予定。
	雑餉隈町区	4	回	民生委員2人だが、見守り対象者が多く、会議の場でたくさんの報告事項がある。区長もほとんどの対象者を把握している。
	栄町区	6	回	継続的に見守る必要がある人が多い。民生委員の見守りもしっかりされていて、区長もほとんどを把握している。
	仲島区	0	回	ケア会議は開催されていないが、推進委員一人一人に見守り対象者が決められていて、毎月1回行う地域福祉推進委員会で見守り活動報告が行われている。
	畑詰区	4	回	民生委員・福祉委員のほか、推進委員からも見守り報告が多い。推進委員会全体で地域を見守りしている。

6 各区の地域福祉推進委員会の開催状況

各地域で定例的に開催される地域福祉推進委員会(福祉部会)の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各地域の福祉活動を支援しています。

地区担当(南:栗津 中央:中村 東:高原 北:馬場) (開催回数 239回)

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数	現状と課題
南地区	牛頸区地域福祉推進委員会 (協力員合同研修)	5 回	ミニデイ等は3班に分かれて開催している。それぞれの班で趣向を凝らしたプログラムが企画されている。
	平野台区福祉部会	12 回	公民館改修に伴い、下半期はミニデイが開催できなかったが、次年度より新体制で再開される。
	月の浦区地域福祉推進委員会	7 回	ミニデイと子育てサロンを毎月実施している。次年度より足元教室に加えて、音楽サロンも導入される予定。
	南ヶ丘1区福祉部	6 回	毎週金曜日にミニデイを開催しているが、今年度よりおしゃべりサロンを開始された。対象制限もなく新たな憩いの場となっている。
	南ヶ丘2区地域福祉推進委員会	12 回	新しい福祉部長が決まり、福祉委員と役割分担しながら福祉活動を展開している。
	つつじヶ丘区福祉部会	10 回	和室を使ってミニデイを行っているが、足が悪い方もいるため机といすを出して対応している。男性スタッフの協力が不可欠である。
	若草区地域福祉推進委員会	6 回	新しい公民館を拠点として福祉活動が展開されている。ミニデイと子育てサロンの他に前期は足元教室、後期は音楽レクリエーションも実施している。
中央地区	上大利区地域福祉推進委員会	5 回	子育てサロンも活動に追加され、推進委員活動が活発化している。市内で初めての認知症徘徊搜索トレーニングが実施され、実施にあたり推進委員が中心となって準備を行った。
	下大利区愛のネットワーク推進委員会	12 回	定期的な清掃や、区内の福祉施設との交流を継続しながら推進委員会で話し合いが持たれている。推進委員会メンバーが発行する広報誌も福祉啓発の一つとなっている。
	東大利区地域福祉推進委員会	6 回	日中仕事をされている推進委員も多く、それぞれの経験や人脈が区活動や福祉活動に反映されている。ミニデイは参加者も地域課題を話し合う時間が設けられている。
	下大利団地区地域福祉推進委員会	12 回	地域ニーズを反映させたミニデイや情報を共有する推進委員会が行われ、きめ細かい見守り活動も展開されている。

	白木原区地域福祉推進委員会 「こだまの会」	6 回	ミニデイや季節の行事の話し合いに会のメンバーが積極的に意見を出しながら身体障害を持つ方との合同外出活動等、様々な福祉活動を展開されている。
	瓦田区地域福祉推進委員会	12 回	高齢者対象のミニデイや子育てサロン活動を継続しながら、内容に消防署や市・在介の協力を巻き込み、勉強会や啓発活動も積極的に行われている。
東地区	釜蓋区福祉部	12 回	足元気教室を中心に毎月ミニデイや定例会が開催され、同地区にある施設でのボランティア活動なども行っている。
	井の口区福祉部会	0 回	毎月ミニデイが開催されており手作り料理が好評。部会としての開催はないが、ミニデイ終了後に次回の行事確認が行われている。
	中区福祉部	12 回	福祉部会と見守りの情報共有を行う会が交互に行われ、行事の検討や見守り活動など活発に行われている。
	乙金区福祉部	12 回	若い世代の人口増加で高齢化率が横ばいであるが高齢者も増えている。今後は見守り活動の強化が必要。保育園と高齢者の交流がなされている。
	乙金台区福祉部	12 回	足元気教室を中心に参加者が増えており、特に男性の参加が多く活発に開催されている。
	乙金東区福祉部	7 回	対象高齢者が多く、対象者の年齢等を分けながら工夫してミニデイが開催されている。部会において見守り体制の検討が行われている。
	大池区福祉部	12 回	毎月の定例会や毎月の手作りサロンなど活発に行われているが、男性の参加者を増やすことが検討課題。
北地区	上筒井区福祉部会	12 回	正副部長（福祉委員・民生委員）の進行で、連絡事項を確認しているが、今後は更に各団体との意見交換が必要。
	下筒井区地域福祉推進委員会	6 回	今年から推進委員が増え、区三役も入れて32名になった。去年の避難訓練で車いすの人の誘導に戸惑ったことをうけ、ふーちゃんゼミナールで介護教室を開く等推進委員の意識が高い。
	山田区地域福祉推進委員会	10 回	高齢者サロン（ひまわり会）や大野北小6年生と給食交流会など高齢者が多く参加する行事が開催されている。こうした行事の呼びかけは、推進委員が手作りのチラシを持って見守りを兼ねて廻っている。

	雑餉隈町区地域福祉推進委員会	3 回	福祉委員と民生委員が連携して、高齢者サロンや子育てサロンを行っている。
	栄町区地域福祉推進委員会	6 回	会長（民生委員）と区長が連携しながら会議を進めている。推進委員は全部で6名程で、高齢者サロン、子育てサロンも毎月開催している。
	仲島区地域福祉推進委員会	12 回	今年から子育てサロンが開催され、月に3～4回の事業を行っている。区長経験者2名が推進委員にいて、推進委員12名のうち5名が男性というのも特徴の1つ。
	畑詰区地域福祉推進委員会	12 回	定例会の時間が不規則で、昼に開催したり夜に開催されることもある。推進委員それぞれに見守る人が決められて、その都度報告があがっている。

7 ミニデイよりあい活動

◇ 各区におけるミニデイ活動状況

地 区	名称等	開催日	参加者数 (1日平均)
牛頸	あいあい会	5ブロックで各々4回 10:00～14:30	22
月の浦	菜の花会	第1土曜日 10:00～13:00	10
平野台	花水木の会	第1水曜日 10:30～14:00	30
南ヶ丘1	友遊クラブ	毎週金曜日 9:30～15:00	18
南ヶ丘2	ひまわり会 ミニデイ	第2木曜日 10:30～13:30	25
		第3木曜日 10:30～13:30	30
つつじヶ丘	ふれあい会	第2木曜日 10:00～13:00	20
若草	若草あいあい会	年7回	25
上大利	音楽サロン等	第2金曜日 10:00～12:00	20
下大利	ミニデイ	年4回 10:00～13:00	50
東大利	ミニデイ	第2または4火曜日 10:00～13:00	9
下大利団地	ミニデイ	第4火曜日 10:00～12:00	25
白木原	ミニデイ	第4月曜日 13:30～15:00	20
瓦田	ミニデイ	年5回 10:00～13:00	35
釜蓋	ミニデイ	第4金曜日 10:00～13:00	22
井の口	月陽会	第1月曜日 10:00～14:00	25
中	かたろう会	第3月曜日 10:00～13:00	32
乙金	かごめかごめの会	年5回 10:00～12:00	35
乙金東	しのめ会	年4回 10:00～14:00	26
乙金台	花草会	年6回 10:00～13:00	22
大池	こすもすサロン	第3月曜日 10:30～14:00	13
上筒井	あじさいサロン	年2回 10:00～15:00	35
下筒井	ミニデイ ひまわりサロン	年2回 10:00～13:00	18
		毎月第2・4火曜日 13:30～15:30	10
山田	ひまわり会	年4回(6月・7月・12月・3月)	28
雑餉隈町	ミニデイ	年4回 10:00～12:00	18
栄町	ミニデイ	年4回 10:00～12:30	32
仲島	ミニデイ 茶話会	年 2回 10:00～13:30	17
		年10回 10:00～12:00	10
畑詰	福寿会	年3回 10:00～13:00	14

各地域で行われるミニデイは、各地域福祉推進委員会の活動の一環として実施されているものです。また、各地域の食生活改善推進会と連携しながら食生活に留意した会食会やお弁当の宅配なども行われています。

8 各地区コミュニティ福祉部会の開催状況

各コミュニティで定例的に開催される福祉部会の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各コミュニティの地域福祉活動を支援しています。

地区担当(南:栗津 中央:中村 東:高原 北:馬場)

(開催回数 36回)

各地区福祉部会	定例会開催回数	現状と課題
南コミュニティ福祉部会	12 回	6月に福祉レクリエーション講習会を開催し、教えてもらったレクリエーションを参加者が各区のミニデイ等で実践されている。番茶の会は食事関係もほぼうまくいった。次年度より開催時期を早める。
中央コミュニティ福祉部会	9 回	推進委員の集い、子育て講座、番茶の会などの実施をされているが、参加対象者ニーズの把握や活動の周知方法、会場設営などの課題が話し合われている。
東コミュニティ福祉部会	9 回	東コミュニティ福祉部会は輪番制で毎年担当地区が変わり、各区より民生委員と福祉委員、推進委員の3名が参加し、担当地区は区長も参加し、担当地区を中心に部会活動を進めている。
北コミュニティ福祉部会	6 回	各区より民生委員と福祉委員が1名ずつ参加している。進行は部会長だが、コミュニティ運営委員会が事務局を兼ねており、事務局長が統括している。事業によっては、NPO共働のまちや行政センターからも出席し、支援している。

9 コミュニティ福祉部会の活動支援

◇各地区のコミュニティ福祉部会の活動状況

	期 日	部 会 名	人数	内 容
平成 26 年	6月23日(月)	南地区コミュニティ福祉部会	50	福祉レクリエーション講習会
	7月11日(金)	中央地区コミュニティ福祉部会	98	第6回福祉推進委員のつどい 講話「ここに寄り添う～聴き上手になる」
	7月14日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	39	大野城市出前講座「介護保険制度について」
	8月20日(水)	南地区コミュニティ福祉部会	103	第15回福祉推進委員交流のつどい
	9月6日(土)	中央地区コミュニティ福祉部会	34	子育て支援親子教室
	9月8日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	22	視察研修(柚の木福祉会)
	9月10日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	47	福祉レクリエーション講習会
	9月17日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	67	北地区福祉推進委員合同研修会
	9月25日(木)	南地区コミュニティ福祉部会	15	施設見学(こぐま学園)
	9月30日(火)	北地区コミュニティ福祉部会	17	「サタデーチャレンジいきいき楽級」高齢者ミニデ イバスハイク事前視察研修
	11月9日(日)	南地区コミュニティ福祉部会	-	まつり南風(アイマスク・車いす体験、血管年齢測 定・折り紙講座)
平成 27 年	12月3日(火)	北地区コミュニティ福祉部会	121	「サタデーチャレンジいきいき楽級」高齢者ミニデ イバスハイク(嘉穂劇場・田川石炭博物館)
	1月22日(火) ～3月24日(火)	南地区コミュニティ福祉部会	124	いきいきボランティア入門(計5日間)
	2月9日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	43	第3回地域福祉推進委員の集い「聴き上手にな ろう」講座
	2月21日(土)	南地区コミュニティ福祉部会	30	子育て支援講演会「子育て道しるべ」
	3月4日(火)	北地区コミュニティ福祉部会	23	視察研修(福岡市民防災センター)

◇第32回番茶の会(ひとり暮らし高齢者等のつどい)

各コミュニティ運営委員会(福祉部会)主催、社会福祉協議会共催で実施されました。

地 区	期 日	会 場	参加者(対象者数)
北地区	平成26年11月14日(金)	ロイヤルチェスター	122名
中央地区	平成26年11月15日(土)	中央コミュニティセンター	182名
東地区	平成26年11月17日(月)	東コミュニティセンター	95名
南地区	平成26年11月26日(水)	南コミュニティセンター	152名

◇コミュニティ福祉部会の活動推進費の交付

◇コミュニティ福祉部会連絡協議会役員との定例会 6回開催(偶数月)

◇共同募金配分金をとおして各コミュニティの福祉活動に助成

10 ふーちゃんゼミナール

市全域に、「向こう三軒両隣」を広げる啓発事業として、地域へ講座メニューを提示しながら地域ニーズに応じた地域主体の学びの場としてコーディネートを行いました。今年度から、筑紫地区人権擁護委員会や筑紫地区薬剤師会の協力を頂き、プログラムのさらなる充実を図りました。

◇ ふーちゃんゼミナール開催状況

開催日	内容	受講団体名	参加者数	担当職員 並びに協力団体
平成 26 年 4 月 9 日 (水)	地域福祉推進活動とは？	平野台区福祉部	27 名	栗津
5 月 20 日 (火)	地域福祉推進活動とは？	南ヶ丘 1 区福祉部	22 名	栗津
5 月 29 日 (木)	高齢者を狙う振り込め詐欺への対策	南ヶ丘 1 区福祉部	130 名	筑紫地区人権 擁護委員 田中氏
5 月 13 日 (火)	地域福祉推進活動とは？	下筒井区福祉推進委員会	30 名	馬場
5 月 23 日 (金)	地域福祉推進活動とは？	下大利区愛のネットワーク 推進委員会	50 名	中村
6 月 26 日 (木)	福島県南相馬市の今	牛頸区福祉推進委員会	28 名	栗津
8 月 6 日 (水)	地域福祉推進活動とは？ 災害に強いまちづくり	つつじヶ丘区福祉推進部	14 名	栗津
8 月 19 日 (火)	ワンポイント介護術	下筒井区福祉推進委員会	20 名	馬場・福島・江島
11 月 5 日 (水)	薬の正しい飲み方	仲島区福祉推進委員会	30 名	筑紫薬剤師会 今泉氏
平成 27 年 2 月 15 日 (日)	福島県南相馬市の今	月の浦区	200 名	高原

延べ 551 名

11 民生委員児童委員連合協議会活動への助成

◇ 民生委員児童委員連合協議会は、民生委員法及び児童福祉法に基づき要援護者の見守り等、各区の福祉委員とともに地域福祉のキーパーソンとして活動がなされています。

12 中央地区総合避難訓練

大野城市中央地区コミュニティを対象に、震度6強の地震が発生した想定で総合避難訓練が開催されました。社会福祉協議会は市災害対策本部の要請により事務局職員及び介護職員を中央コミュニティセンターに派遣し、福祉避難所の運営支援を行いました。

開催日：平成27年3月8日(日)
場 所：中央コミュニティセンター
参加者：997名
職 員：11名
役 割：①避難所運営ボランティアの受付
②福祉避難所の運営支援

13 中央地区復興のタベ

市の総合避難訓練の後に同じ地区で、東日本大震災で犠牲となった方々のご冥福と1日も早い被災地の復興を祈念する「復興のタベ」が3年前から開催されており、今年度は市民減災研修会・中学生被災地派遣研修会地域報告会として派遣研修会に参加した中学生からの被災地の現状の報告がありました。

開催日：平成27年3月11日(水)18時～
場 所：中央コミュニティセンター多目的室
参加者：約200名
職 員：3名
主 催：大野城市・中央地区コミュニティ協議会・大野城市社会福祉協議会

14 コミュニケーションマージャン講習会と貸出状況

各地域からの声として、「ミニデイの内容がマンネリ化してきた。」「男性の参加者がなかなか増えない。」という意見があり、地域のサロン活動等で新たな内容として平成25年に1セット取り入れ、延べ14地区で貸し出し依頼がありました。また、平成26年度に1セット追加し、地域・団体からの貸し出しニーズに対応しました。

日 時：平成26年7月3日(木)13:30～16:00
講 師：夢こらぼ主宰 松尾 弥生氏
参加者：48名

Ⅱ－事業・活動

◇平成26年度コミュニケーションマージャン貸出状況

貸出地区・団体	貸出期間
若草区地域福祉推進委員会	5月16日～5月20日
つつじヶ丘区福祉推進部	6月12日
乙金区福祉部	6月20日～6月23日
南ヶ丘2区地域福祉推進委員会	7月9日～7月10日
乙金東区福祉部	8月22日～8月25日
下大利団地区地域福祉推進委員会	8月26日
牛頸区地域福祉推進委員会	10月6日～10月7日
牛頸区地域福祉推進委員会	10月16日～10月17日
乙金東区福祉部	10月16日～10月20日
中区シニアクラブ	10月24日～10月27日
男女平等推進センター	1月9日
乙金区福祉部	1月16日～1月19日
下筒井区	1月28日
男女平等推進センター	2月13日～2月16日
男女平等推進センター	2月27日～3月2日
男女平等推進センター	3月9日
男女平等推進センター	3月11日
男女平等推進センター	3月13日～3月16日

平成26年度コミュニケーションマージャン貸出状況・・・延べ11地区、7団体

15 上大利区認知症徘徊搜索トレーニング

認知症の方とご家族が抱える問題を他人事としてではなく、自分の問題として捉えていくことができるよう、地域の方に認知症の人とその家族を支えることを理解して頂くとともに、もし認知症の方が行方不明になったとしても、地域全体で搜索する体制づくりと、初動時に地域福祉関係者だけではなく、様々な関係機関と連携を図っていくことを目的に、今年度先駆的に上大利区で開催しました。

日 時：平成27年2月8日(日)午前9時30集合

会 場：上大利公民館

参加者：146名

上大利区役員	4 名
上大利区各種団体	35 名
一般参加者(市内)	54 名
一般参加者(市外)	6 名
地域密着型サービス事業所	13 名
悠生会	8 名
中央コミュニティセンター	2 名
市役所職員	12 名
社会福祉協議会職員	12 名
計	146 名

トレーニング開催まで、上大利区と中央在宅介護支援センター、市の関係各課と社協で打ち合わせを重ね、また、9月には先進地の大牟田市にも視察見学を行い、トレーニング作法などを学びました。

また地域の方々に認知症について正しく理解して頂くため、12月に認知症サポーター養成講座、1月には認知症専門医の瀬戸裕司先生による認知症を正しく理解する講演を開催しました。

◎ [上大利区認知症徘徊搜索トレーニング報告書を作成しています。]

5. 広報関係

市内を中心とした幅広い福祉情報を掲載した「社協だより(愛称:ふくしんぼ)」を年6回発行しています。

平成26年度実績

1 「社協だより」の発行

主 旨 : 広く地域の福祉情報を収集し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めています。

発 行 号 : 145号・146号・147号・148号・149号・150号

2 ホームページ等による情報発信

社協活動、東日本大震災被災地支援情報等を随時更新しながら発信をしています。

ホームページ訪問数 : 35,569

ユーザー数 : 6,050

(4/1～3/31までの実績:グーグルアナリティクスによる解析)

3 ツイッター、フェイスブックによる情報発信

ツイッターとフェイスブックの運用を開始し、社協の活動や災害ボランティア情報等を積極的に発信し、タイムリーな情報発信の有効性の確認を行いました。

6. 法外援護対策事業

火災等の被災者に対し、見舞品や見舞金を支給。豪雨災害により公民館に避難された時は、貸ふとんや簡易ベッドを搬入し支援を行います。

また、認知症高齢者の徘徊等による行方不明者が発生した時は、大野城市行方不明者捜索マニュアルに沿って、市と連携しながら捜索を行っています。

平成26年度実績

台風接近による自主避難:2件

【7/9(水)貸布団5組、10/12(日)貸布団9組】

大雨による自主避難:1件

【7/12(土)貸布団2組】

建物火災:3件

【5/2(金)見舞金、6/16(月)布団1組・見舞金、10/31(月)布団2組・見舞金】

行方不明者捜索:2件

【10/20(月)、1/2(金)】

7. 身体障がい者福祉対策事業

身体障害者福祉協会や障害者施設団体連絡協議会等、当事者組織と連携を図りながら、ハンディを持つ人たちの社会参加を支援することを目的とし、各事業に取り組んでいます。

平成 26 年度実績

1 翔んでふれあって 2014（障がい者大運動会）

期 日：平成26年10月19日（日）
場 所：北コミュニティセンター
参 加 者：281人

2 重度障がい者社会参加事業

期 日：平成26年6月30日（月）
場 所：田川郡添田町（英彦山）
参 加 者：10名（内職員2名、ボランティア3名）

◎〔重度障がい者社会参加（リフレッシュ）事業参加者アンケート調査を実施〕

3 大野城市身体障害者福祉協会への支援

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行なうとともに、事業の実施にあたりその活動の支援を行いました。特に外出が困難な人に対しては、日帰りによるレクリエーションを実施しながら協働で事業を推進しました。

4 障害者施設団体連絡協議会への支援

◇毎週土曜日に大野城まどかびあで開設される、ほっとすぽと「サンサン」の支援。
◇総合福祉センター1階、交流スペース「ほっとぴあ」の運営。
◇運営委員会の機能強化を図るため、1ヶ月に1回の定例会を開催し、研修会や各団体・施設との意見交換会などを行う。

8. 知的障がい児者福祉対策事業

知的障がい児者、そして家族の福祉向上を目的に事業に取り組んでいる。特にハンディを持つ仲間たちのふれあいの旅や一時預り事業を通し、自立支援と余暇の過ごし方に力を入れて取り組んでいます。

平成26年度実績

1 ふれあいの旅2014（第32回）

期 日 : 平成26年11月8日(土)～9日(日)
場 所 : 山口県(重源の郷・KDDIパラボラ館・海響館)
参 加 者 : 102名(参加者45名、ボランティア50名、職員7名)
協 力 : 大野城市ボランティア連絡協議会

◎ [ふれあいの旅2014アンケート調査を実施]

2 小中ふれあいの旅2014.8

期 日 : 平成26年8月23日(土)～24日(日)
場 所 : 長崎県 森きらら動物園・ハウステンボス
参 加 者 : 39名(参加者15名、ボランティア17名、職員7名)

3 夏っ子クラブ（ハンディを持つ子どもたちの夏季休暇一時預かり事業）

内 容 : レクリエーション・創作活動・水遊び、他
期 日 : 平成26年7月25日(金)～8月26日(火)(お盆を除く火曜日と金曜日)
場 所 : 大野城市子ども療育支援センター
登録人数 : 39名(未就学児1名、小学生20名、中学生9名、高校生9名)
利用者数 : 165名(延べ人数)
登録スタッフ : 94名
活動スタッフ : 202名(延べ人数)

4 大野城市手をつなぐ育成会への助成

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行っています。近年、父親を対象とした研修会等が開催され、父親の育成会活動への参加を促進中です。

9. 高齢者福祉対策事業

核家族化とあわせて、急速にすすむ高齢化により、高齢者世帯の抱える困難な問題や団塊の世代がむかえようとしている定年後の地域社会への不安など、「個々や団体、地域」などの幅広いニーズに取り組んでいます。

平成 26 年度実績

1 大野城市シニアクラブ連合会に対する活動援助

シニアクラブ連合会では、活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいと健康づくりや長年培ってきた知識、経験を地域社会のために生かす取り組みや、通学路における小学生の見守り活動等を展開されている。

職員派遣

期 日 : 5月13日(火)
場 所 : まどかパーク多目的グラウンド
内 容 : 第32回ゲートボール大会

期 日 : 5月27日(火)
場 所 : まどかパーク多目的グラウンド
内 容 : 第23回ペタンク大会

期 日 : 5月22日(木)～23日(金)
会 場 : 大分県天瀬町
内 容 : 理事等研修会

期 日 : 6月10日(火)
場 所 : まどかパーク多目的グラウンド
内 容 : 第20回グラウンドゴルフ大会

期 日 : 9月2日(火)
会 場 : まどかびあ大ホール
内 容 : 第8回歌謡音楽のつどい

期 日 : 9月30日(火)
場 所 : まどかパーク多目的グラウンド
内 容 : 第21回グラウンドゴルフ大会(会場にて雨天中止)

2 大野城市シニアクラブ連合会への助成

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行なっています。会員相互の健康保持のための活動や健康医療講演会、訪問見守り活動などがなされています。

10. 子育て支援事業

大野城市に転入して間もない親子や、子育てに悩む若い親の支援、保育所への遊具設置など、子どもたちが安心して遊べる場を提供し、子育てしやすい環境づくりを図っている。

平成 26 年度実績

1 子育て支援事業

支 援 内 容 : 総合福祉センター及び福祉バス利用料免除や遊具の貸出
子育てサークル活動費補助(3 サークル)

登録サークル : 5 サークル(会員数 123 名)

◇登録子育てサークル一覧

サークル名	開催場所	活動時間	会員数
Sunny!!	総合福祉センター	第 4 水曜日	36 名
ぷちらいおん	中央コミュニティ	第 1・2・4・5 火曜日	29 名
チェリーKIDS クラブ	総合福祉センター	月 1～2回程度	19 名
キッズスマイルクラブ	南コミュニティ 総合福祉センター	毎週火曜日または木曜日	35 名
かめさんひろば	総合福祉センター	月 2 回、月曜、土曜日	4 名

2 「子育てサークルだより」の発行

主 旨 : 身近な子育て情報を発信し、安心して子育てできる環境を目指しています。

発 行 号 : 39 号 ・ 40 号 ・ 41 号 ・ 42 号 ・ 43 号 ・ 44 号

◇地域福祉推進委員会（福祉部会）が主催する子育てサロン

サロン名	地 域	開催場所	活動時間	平均参加者
あいあいくらぶ	牛頸区	公民館	第1水曜日 10:00～12:00(年10回)	12組
すくすくくらぶ	若草区	公民館	第2火曜日 10:00～12:00(年6回)	8組
ムーンキッズ	平野台区	公民館	第2・4金曜日 10:30～12:30	13組
しゃべりば ぽこぽこ	月の浦区	公民館	第4金曜日 10:00～12:00	8組
だっこちゃん広場	南ヶ丘1区	公民館	第1・3木曜日 10:00～11:30	10組
こあら広場	南ヶ丘2区	公民館	第4水曜日 10:00～12:00	5組 (26年度開始)
あすなろサロン	上大利区	公民館	第4水曜日 10:00～11:30	30組
子育て支援サロン	下大利区	公民館	第1水曜日 10:00～12:00	12組
子育て支援教室	東大利区	公民館	第3月曜日 10:00～11:30	25組
瓦田おひさまサロン	瓦田区	公民館	第4月曜日 10:30～11:30	25組
ひよこっこ	中区	公民館	毎月第4水曜日 10:00～12:00	20組
おひさま広場	釜蓋区	公民館	毎月第2木曜日 10:00～12:00	15組
わかばっ子	乙金東区	公民館	毎月第1木曜日 10:00～12:00	12組
チューリップサロン	上筒井区	公民館	第2・4水曜日 10:30～11:30	25組
カンガルー広場	下筒井区	公民館	第1・3金曜日 10:00～12:00	13組
さくらんぼサロン	雑餉隈町区	公民館	第3木曜日 10:00～12:00	12組
子育て支援サロン「らっこ」	栄町区	公民館	毎月第4金曜日 10:00～12:00	16組
親子サロン	仲島区	公民館	毎月第2・4水曜日 10:00～12:00	18組
はたづめっこ	畑詰区	公民館	毎週木曜日 10:00～12:00	10組

◇たけのこ支援主催のサロン

大野城市へ転入して来る子育て中の親子や他の子育てサークルに登録していない親子に対して、同じ仲間との交流を通して孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境と子育てに関する情報提供の場を目的としてその活動が行なわれています。

内 容	開 催 期 日	会 場	参加者
子育てサロン	平成26年 5月 7日(水)	総合福祉センター多目的室	3組
七 夕 会	平成26年 7月 2日(水)	総合福祉センター大会議室	34組
講 演 会	平成26年 9月 3日(水)	総合福祉センター多目的室	13組
子育てサロン	平成26年11月 5日(水)	総合福祉センター多目的室	5組
クリスマス会	平成26年12月10日(水)	総合福祉センター大会議室	39組
子育てサロン	平成27年 2月 4日(水)	総合福祉センター多目的室	9組

◎[たけのこ支援クリスマス会参加者アンケート調査を実施]

3 保育所に遊具等の助成【大城保育園】

共同募金配分金より毎年1ヶ所私立保育所へ遊具等の助成を(250,000 円)行なっています。

物 品 : 和太鼓

4 遊具の貸出状況

子どもたちの健やかな成長を支えること、また、地域での遊びの機会を支援することを目的に、社会福祉協議会に登録している子育てサークル及び各区公民館で開催される子育てサロンに遊具の貸出しを無料で行っています。

○平成26年度貸出件数 95件

○貸出の多い人気の遊具

1. ソフトブロック
2. わくわくハウス
3. ドレミマット

11. 児童青少年福祉対策事業

平成 26 度実績

1 福祉教育読本「ともに生きる」配布

対 象 : 市内各小学校5年生
配 布 数 : 1,056冊

2 子ども会育成会の助成

共同募金配分金をとおして、子ども会育成会では、「子どもが主役だ・地域で育てよう子どもたち」を主眼に、子どもの健全育成、子ども会の発展に向けて、地域ぐるみによる子どもをとりまく環境づくりの活動をされています。

3 保護司会への助成

共同募金配分金をとおして、保護司会では保護司信条である社会奉仕の精神をもって、過ちに陥った人たちの更生に尽くされる活動をされています。

12. 福祉教育

1 小学校等への福祉教育

総合的な学習の時間等を利用して、市内の小中学校より福祉教育の依頼があった時に、職員やボランティア、障がい者など当事者の方と一緒に子どもたちに福祉やボランティアについて学習し、子どもたちひとり一人が“自分たちにできることは何か”を考えるきっかけにつながっています。

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
平成26年 6月23日(月)	平野小学校3年 106名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名
平成26年 6月27日(金)	下大利小学校3年 40名	アイマスク体験	
平成26年 7月 1日(火)	下大利小学校3年 40名	車いす体験	
平成26年 7月 9日(水)	平野小学校3年 106名	車いす体験	身体障がい者1名
平成26年 7月14日(木)	大野小学校4年 138名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名
平成26年 8月18日(月)	大利児童保育所 134名	アイマスク体験 ボランティア活動について	点訳ボランティア及びボラ連(13名)

平成26年 9月 9日(火)	大利小学校4年 156名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成26年 9月16日(火)	大利小学校4年 156名	車いす体験	福祉委員1名
平成26年 9月22日(月)	大野南小学校4年 150名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員1名
平成26年 9月25日(木)	大野小学校4年 139名	車いすの取り扱いと体験	福祉委員2名
平成26年 9月26日(金)	大利小学校4年 156名	アイマスク体験	福祉委員1名
平成26年10月 3日(金)	大野北小学校4年 90名	アイマスク体験	福祉委員3名
平成26年10月 8日(水)	大利小学校4年 156名	ボランティア活動について	ボランティア2名 福祉委員2名 福祉課職員
平成26年10月 9日(木)	大野北小学校4年 90名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員3名
平成26年10月14日(火)	大野南小学校4年 150名	アイマスク体験	福祉委員2名
平成26年10月17日(金)	大城小学校4年 62名	視覚障がい者の日常生活について アイマスク・白杖体験	視覚障がい者1名 福祉委員1名
平成26年10月20日(月)	下大利小学校3年 39名	アイマスク体験 車いす体験 ※地域で実施	視覚障がい者1名 福祉委員2名 民生委員5名
平成26年10月23日(木)	大野北小学校4年 90名	点字体験	点訳ボランティア6名
平成26年10月24日(金)	大野東小学校3年 98名	車いす体験	福祉委員4名
平成26年10月27日(月)	大野北小学校4年 90名	点字体験	点訳ボランティア5名 福祉委員2名
平成26年10月28日(火)	大野南小学校4年 150名	車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員1名
平成26年10月30日(木)	大野東小学校3年 98名	アイマスク体験	福祉委員3名
平成26年11月 4日(月)	大野東小学校3年 98名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員3名
平成26年11月 7日(金)	大野北小学校4年 90名	車いす体験	福祉委員1名
平成26年11月10日(月)	下大利小学校3年 39名	アイマスク体験 車いす体験 ※地域で実施	視覚障がい者1名 身体障がい者1名 施設職員1名 福祉委員2名 民生委員6名
平成26年11月12日(水)	大野南小学校4年 150名	聴覚障がい者の日常生活について	聴覚障がい者1名 手話の会4名 福祉委員2名
平成26年11月26日(水)	大城小学校4年 62名	点字体験	点訳ボランティア6名 福祉委員2名

平成26年12月 8日(月) ～12月10日(水)	大野南小学校4年 150名	点字体験	点字板貸出
平成27年 1月23日(金)	大城小学校3年 60名	「ふくし」とは	
平成27年 2月12日(木)	大城小学校3年 60名	車いす体験	身体障がい者1名
平成27年 2月13日(金)	月の浦小学校3年 75名	車いす体験	
平成27年 2月18日(水)	大城小学校3年 60名	聴覚障がい者の日常生活について	聴覚障がい者1名 手話の会2名 福祉委員1名

合計回数 32 回 対象児童数 1,110 名

2 福祉教育基礎研修会

市内の小中学校の教職員を対象として、子どもたちの主体的な学びにつながる福祉教育とは何か、またその在り方を学ぶとともに、授業実践に活かすことを目的とした研修会を開催しました。

期 日 : 平成26年8月7日(木)

場 所 : 総合福祉センター3階大会議室

参 加 者 : 教職員 51名 福祉委員 19名 ゲストティーチャー 3名 その他 7名

内 容 : (1)福祉教育実施報告

下大利小学校より福祉教育実践報告

(2)講義・演習

テーマ 「効果的な福祉教育を目指して」

講 師 学習院大学 文学部教育学科 教授 長沼 豊 氏

共 催 : 大野城市教育委員会

◎[福祉教育基礎研修会参加者アンケート調査を実施]

13. 父母子福祉対策事業

ひとり親家庭の相談に対する支援(母子会会議での助言や事業等)を行なっています。

平成 26 度実績

1 大野城市母子寡婦福祉会への支援

共同募金配分金をとおして、大野城市母子寡婦福祉会では、日常における母子家庭の生活の安定等を目指して、自立促進につながる総合的な母子家庭の施策を促進するため活動をされています。

14. 在宅介護者支援事業

在宅で高齢者等の介護をされている家族を対象に、日帰りのリフレッシュ旅行などを開催し、その福祉向上を図ることを目的とし、取り組んでいます。

平成 26 年度実績

1 在宅介護者のつどい

主 旨：市内で在宅介護をしている方等を対象とする。日帰り旅行を通して、意見交換を行う為の交流の場を作り、それぞれの気分転換を図り、今後の在宅介護の在り方について考えていただくことを目的とする。

期 日：平成27年3月12日(木)

場 所：宗像方面

参 加 者：18名(内、初参加者7名)

◎[在宅介護者のつどい参加者アンケート調査を実施]

2 在宅介護者家族の会「花ふぶき」支援

団体役員の方の諸事情により、活動を休止されています。話し合いを重ねながら、今後の会の取り組みの支援を行なっています。

15. 平成26年度共同募金運動

多くの方々にご協力頂いた共同募金は、地域の福祉活動費や社会福祉協議会が行なう様々な福祉事業に活かされています。

平成26年度実績

1 共同募金啓発チラシデザイン募集

内 容 : 啓発用チラシのデザインを、小学校4年生～6年生から募集し、入選作品を社協だよりの折込みチラシとして全戸に配布。今回、大野小、大野北小、大野南小の児童を対象として募集し、495 作品(平野小生徒からの自主応募作を含む)の協力を頂きました。入選作品は、運動期間中、総合福祉センターや各コミュニティセンターに展示しました。

応募件数 : 495件

最優秀作品 : 大野北小学校4年 諸石 悠真 さん

2 共同募金運動キャッチフレーズ(標語)募集

内 容 : 一般市民より大野城市独自の募金運動のキャッチフレーズ(標語)を募集し、啓発活動に活用しました。

26年度キャッチフレーズ : 「笑顔の輪 咲かせるための 赤い羽根」(古西 彩夏 さんの作品)

応募件数 : 6件

これらの啓発活動は、市民の方への PR にもつながり、昨年実績額よりも上回る実績を得ることができました。

(単位: 円)

	平成26年度		平成25年度	
	目 安 額	実 績 額	目 安 額	実 績 額
戸 別 募 金	14,400,000	14,726,404	14,330,000	14,076,583
企 業 募 金	3,000,000	2,589,831	2,850,000	2,760,468
街 頭 募 金	370,000	327,321	369,000	307,191
職域団体募金	900,000	811,308	837,000	801,495
バッジ等募金	600,000	591,522	590,000	575,312
個 人 募 金	250,000	1,231,367	196,000	1,221,079
イベント募金	50,000	70,435	21,000	34,687
自販機売上募金	555,000	433,385	535,000	469,109
募金箱設置協力	350,000	322,221	250,000	227,181
合 計	20,475,000	21,103,794	19,978,000	20,473,105

3 支会理事会開催状況 （理事総数 16名）

開催年月日			議 題		出席者
平成 26 年	6月26日	第1回	第1号議案	平成26年度共同募金運動決起集会(仮称)について	12名
			第2号議案	街頭募金について	
			第3号議案	企業募金推進会議について	
			第4号議案	共同募金配分のあり方について	
	9月 1日	第2回	第5号議案	福岡県共同募金会大野城市支会支会長の互選について	13名
			第6号議案	福岡県共同募金会大野城市支会副支会長の互選について	
			第7号議案	平成26年度共同募金運動実施計画(案)について	
			第8号議案	平成26年度大野城市共同募金運動キャッチフレーズ選考について	
			第9号議案	福岡県共同募金会大野城市支会共同募金配分検討委員会設置要綱(案)について	
平成 27 年	2月23日	第3回	第10号議案	福岡県共同募金会大野城市支会共同募金配分要綱(案)について	13名
	3月27日	第4回	第11号議案	平成27年度共同募金会大野城市支会資金収支予算(案)について	14名

4 配分検討委員会開催状況 （検討委員数 5名）

共同募金配分金に関する内容を審議することを目的に設置し、配分のあり方(見直し)について検討しました。

開催年月日			議 題		出席者
平成 26 年	10月 9日	第1回	議題1	共同募金配分検討委員会正副委員長の互選について	5名
			議題2	共同募金配分検討委員会への諮問について	
			議題3	共同募金配分の現状	
			議題4	共同募金配分検討委員会の進め方について	

平成 26 年	11月19日	第2回	議題1	社協事業の必要経費について	5名
			議題2	3市1町に聞き取った内容について	
			議題3	共同募金配分団体一覧について	
			議題4	共同募金の配分に関する調査について	
			議題5	4市1町社協職員数比較表について	
			議題6	はねっとシステム 共同募金助成明細一覧について	
	12月11日	第3回	議題1	共同募金の配分に関する調査表(4市1町追加分)	5名
			議題2	平成26年度共同募金配分一覧(データ追加分)	
			議題3	共同募金配分金の動き(平成10年度～26年度)	
			議題4	社協事業費の確保と団体配分の仕方について	
平成 27 年	3月27日	第4回	議題1	答申書最終確認(支会長へ提出)	5名

5 平成26年度赤い羽根共同募金のつどい in おおのじょう

期 日	平成26年9月6日(土)
会 場	大野城市総合福祉センター3階大会議室
参 加 者	88人

6 企業募金推進会議

地 区	期 日	会 場	参加者
北地区	平成26年10月31日(金)	北コミュニティセンター研修室	11名
南地区	平成26年11月5日(水)	南コミュニティセンター視聴覚室	26名
中央地区	平成26年11月12日(水)	中央コミュニティセンター視聴覚室	14名
東地区	平成26年11月13日(木)	東コミュニティセンター視聴覚室	27名

16. 福祉機器貸出事業

在宅で生活するために車いすや電動ベッドなどを必要とする人で、公的制度を利用する事ができない場合、短期間の貸出をしています。

平成 26 年度実績

貸出延件数： 車いす(77 件)、電動ベッド(9 件)

17. 福祉機器リサイクル事業

不要になった電動ベッドや車いすなどの福祉機器を必要としている方に斡旋し、まだ利用可能な福祉機器を活かすことを目的としています。

平成 26 年度実績

登録件数： 電動ベッド(8 件)、その他(2 件)

斡旋件数： 電動ベッド(4 件)

18. 移送サービス事業

著しく歩行が困難で車椅子等を利用している人や、寝たきりの状態で既存の交通機関を利用することが困難な人に対して、社会参加のひとつの手段として、リフトカーを運行し、障がい者や高齢者の福祉の増進を図ることを目的としています。より多くの方の需要にこたえることができるよう、日本財団より助成を受け、平成22年2月からは車両を1台追加し、2台の運行でサービスの充実を図っています。

平成26年度実績

利用登録者数：50名

移送サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働日数(日)	19	17	19	17	19	20	24	15	14	14	15	18	211	18
利用延人数(人)	27	27	47	29	21	26	38	19	16	17	23	30	320	27

◎ [移送サービス利用者アンケート調査を実施]

19. ハンディキャブ貸出事業

車いすを利用している人や車いすを利用しないと外出が困難な人に、車いすに乗ったまま乗車できる軽車両(ハンディキャブ)の貸し出しを行う事業で、ハンディキャブを利用する事で障がい者や高齢者の外出を容易にし、家族の負担を軽減することを目的としています。また、運転者がいない場合、ボランティアセンターにおいて運転ボランティアのコーディネートを行っています。

平成26年度実績

利用登録者数：39名

運転ボランティア登録者数：14名

ハンディキャブ貸出事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働回数	28	28	21	19	18	21	29	13	16	11	12	12	228	19
運転ボランティア稼働人数	7	5	11	7	3	3	8	5	4	3	4	3	63	5

20. 福祉食事サービス(市受託事業)

在宅日常生活支援事業として、ひとり暮らしの高齢者、障がいを持った方などに1年365日食事(昼・夕)を宅配しながら安否確認・見守りを行っています。同事業では、ボランティアグループ「ききょう」の作成による絵手紙を毎月添付しています。今年度は利用者へ食事サービスに関するアンケート調査を実施し、ニーズの把握等を行いました。

平成26年度実績

受給者数 : 月平均77.5名
 延食数 : 25,599食
 延利用者数 : 930名

※福祉食事サービス利用状況の詳細については、巻末資料「別表5」平成26年度福祉食事サービス利用状況」P63 参照

◎ [福祉食事サービス利用者アンケート調査を実施]

21. 福祉バス運行事業

福祉バス利用により、地域住民の福祉活動を増進させるため、福祉バス利用申し込み受付と運行管理を行なう。福祉活動を目的とした視察研修等に利用されています。

平成26年度実績

福祉バス運行状況 乗車27人乗り(マイクロバス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
運行回数(回)	7	13	21	14	8	21	24	21	4	5	11	14	163	14
延利用者数(人)	118	284	432	293	131	478	497	525	66	58	197	275	3354	280

*利用団体状況

(1) 福祉推進委員会、コミュニティ福祉部会、区長会、民児協	83	回
(2) 社協が事業を行う上で必要とする場合	11	回
(3) 行政が事業を行う上で必要とする場合	14	回
(4) 社会福祉団体が福祉活動を行う上で必要とする場合	17	回
(5) 福祉に寄与する団体等で使用目的、及びその活動の内容を 勘案し会長が必要と認めた場合	33	回

◎ [福祉バス利用団体アンケート調査を実施]

22. 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

平成26年度の相談件数、申込件数、貸付決定件数は昨年度とほぼ横ばいで推移しているが、緊急小口資金の約80%が生活保護支給までのつなぎの申し込みであり、生活に困窮されている方はまだまだ多い状況である。

平成26年度実績

◇生活福祉資金相談・貸付状況(※相談件数は初回相談時を標記)

種 別 / 内 容		相談件数	申込件数	決定件数	貸 付 額
総合支援資金	生活支援費	15	2	3	730,000 円
	住宅入居費	2	1	1	125,966 円
	一時生活再建費	1	0	0	0 円
教育支援資金	就学支度費	37	23	23	8,399,000 円
	教育支援費	40	20	20	24,618,000 円
福祉資金	生 業	1	0	0	0 円
	技能修得	4	1	1	1,665,000 円
	葬 祭	5	1	1	162,000 円
	転 宅	15	0	0	0 円
	福祉用具購入	0	0	0	0 円
	障がい者自動車購入	1	0	0	0 円
	住宅改修	1	0	0	0 円
	療養・介護	5	0	0	0 円
	災害援護・国年・エ アコン・必需品	3	1	1	12,000 円
	緊急小口資金	57	39	41	2,695,000 円
不動産担保型生活資金		9	0	0	0 円
合 計		※196	88	91	38,406,966 円

◇臨時特例つなぎ資金相談・貸付状況

種 別 / 内 容	相談件数	申込件数	決定件数	貸 付 額
臨時特例つなぎ資金	1	1	1	25,000 円
合 計	1	1	1	25,000 円

23. 被災地支援活動

大野城市社会福祉協議会では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災にて被災し、地震、津波、原発事故、風評の被害がある福島県南相馬市を継続的に支援しています。“忘れない”を合言葉に寄り添い、支援を続けていきます。

平成26年度実績

1 福島県（南相馬市）応援ツアー

東日本大震災後の現地を観光等を通して応援するための取り組みとして、旅行会社への提案を行ない、3回目となる「大野城市社会福祉協議会プロデュース東北応援ツアー」を実施しました。

今回は九州／福岡から東北／仙台へ、“東北応援&復興陳情の旅 私たちは忘れない!!”とのスローガンのもと、事前説明会・オプション選択など新しい企画を、とにかく「来て良かった」「また、来たい」と思ってもらえる旅になるよう、支援を楽しんでもらえるよう心がけ、大きな問題なく帰路につきました。参加者の皆さんが気さくに交流されたことで支援の広がりが生まれました。今回、締め切り前に満員34名となり、3名がキャンセル待ちという状況でした。

国会議事堂にて、国会議員・復興庁の職員の方に、応援ツアーで3回目の訪問になるが福岡県大野城市の市民が、切実に直接訴えることができたことは、参加者の方、被災地の方にとって持続的支援に拍車がかかり、やりがいを得るものとなったのではないのでしょうか。この熱い想いを、東北に送り続けたいと思います。

企画名：大野城市社会福祉協議会プロデュース東北応援ツアー

期 日：平成26年7月14日（月）～16日（水） 2泊3日

行き先：福島県南相馬市（南相馬市社会福祉協議会職員同行により小高区へ視察）

福島県会津若松市（観光支援：福島岳温泉・五色沼・猪苗代湖）

東京・国会議事堂（国会議員・復興庁職員）

・復興支援早期・強化を陳情・・・復興の現状の説明

参加者：35名（うち職員1名、添乗員1名）

2 第5回南相馬市ボランティアフェスティバルへの参加

南相馬市の現状取材をととして社協だより等で市民へ伝えるため職員を派遣した。

日 時：平成27年1月25日（日）10：00～15：00

会 場：福島県南相馬市 原町区福祉会館（南相馬市社会福祉協議会）

参加者：職員1名

南相馬市は現在、警戒区域・避難指示区域が見直され「帰宅困難区域」、「住居制限区域」、「避難指示解除準備区域」に分けられおり、南相馬市小高区の大部分は「避難指示解除準備区域」である。小高区内は、立ち入りは自由であるが特別な許可がなければ自宅などに泊まることはできない。会社や店を開くことはできるが従業員が不足しており、求人募集をしても集まらないという状況もある。南相馬市では、仮設住宅から災害公営住宅への転居が始まっている。それにともない、転居先での新たなコミュニティづくり支援が求められている。未だ放射線の不安が続く中、生活再建の格差、人材不足、人の心の復興などの課題がある。

3 被災地応援「福島県応援ショップ」の運営支援

総合福祉センター1階ロビーにて、「福島県応援ショップ」として福島県南相馬市の特産品等を中心に販売を行っています。購入を通じた支援を行いながら、「つながり」を大切にし、息の長い応援を継続していきます。

また、平成26年度より JA ゆめ畑大野城店への出店を行い、より多くの方に東北の特産品を手にとっていただいています。

Ⅲ. ボランティアセンター事業

ボランティア活動推進 40

声の広報 44

24. ボランティア活動推進

ボランティアの個人登録及びボランティアグループの活動支援を行なうとともに、ボランティア研修会や各種講習会を開催し、市民のボランティア参加を促進することを目的としています。

平成 26 年度実績

1 ボランティア活動相談・コーディネート状況

ボランティア活動に関する相談件数 : 79件

①活動希望、情報収集に関する相談件数 : 43件

②ボランティアニーズに関する相談件数 : 36件

③ボランティアコーディネート件数 : 169件(うち運転ボランティアは89 件)

内容・・・施設(演芸、楽器演奏、マジック、話し相手)、ボランティアグループでの活動(手話、朗読、点字)福祉団体事業での活動(販売補助、イベント、野外活動)、障がい児預かり事業ボランティア、運転ボランティア、ふれあいの旅、災害ボランティア、託児ボランティア、ひとり親家庭学習支援ボランティア

(※ボランティア保険手続き30件)

2 配信システムによるボランティア情報等の提供

携帯電話やパソコンへの配信システムを構築(グループ別にて配信可)し、ボランティアセンター登録者や福祉委員の方々へ情報の提供を行いました。

登録者数:89名 配信件数:7件

内容:夏っ子クラブスタッフ及び小中ふれあいの旅ボランティア募集、ひとり暮らし高齢者見守り強化について、赤い羽根共同募金のつどい in おおのじょう開催案内、点訳講習会(入門編)募集、福島県応援ショップ販売ボランティア募集、ダウン症児の託児見守りボランティア募集
徘徊・行方不明者搜索情報

3 ボランティアセンター運営委員会開催 : 7回

運営委員(4名): 民生委員経験者、ボランティア連絡協議会、障害者団体連絡協議会、有識者各1名

開催年月日			議 題	出席者
平成 26 年	4月30日	第1回	(仮称)地域福祉活動計画における市民活動推進計画について 傾聴ボランティア養成講座及び傾聴ボランティアグループの組織化について	4名
	5月17日	第2回	(仮称)地域福祉活動計画における市民活動推進計画について	4名

平成 26 年	6月5日	第3回	(仮称) 地域福祉活動計画における市民活動推進計画について	4名
	7月8日	第4回	(仮称) 地域福祉活動計画における市民活動推進計画について	4名
	9月22日	第5回	(仮称) 地域福祉活動計画における市民活動推進計画について	3名
	11月24日	第6回	(仮称) 地域福祉活動計画における市民活動推進計画について ふーちゃんカフェについて	4名
平成 27 年	2月27日	第7回	(仮称) 地域福祉活動計画における市民活動推進計画について ふーちゃんカフェについて	3名

4 ふーちゃん・カフェ

【おおのじょうボランティアセンター利用登録団体・個人の情報交換会】

ボランティアセンターに登録しているボランティアグループと個人登録ボランティア同士のつながりづくりや、顔がみえる関係をつくるために、ワールド・カフェスタイルにてそれぞれ参加者同士がどのような活動を行っているか等の情報交換会を開催した。

また、各ボランティアグループの活動内容等が分かる情報ファイルをボランティアセンターに設置し、開かれたボランティアセンターを目指しています。

開催日	平成27年3月21日(土)
参加人数	44名
ファシリテーター	加留部 貴行 氏
対象者	ボランティアセンターに登録しているボランティアグループ及び 個人登録ボランティア

5 福岡県母子寡婦福祉連合会が実施する学習支援教室のボランティア確保の支援

ひとり親家庭の子どもたちを対象として、学習支援や進学相談を行うことで、学力向上を目指し、将来的に子どもたちの安定的な就労につなげることを目的に、社会福祉法人福岡県母子寡婦福祉会が学習支援ボランティア事業を行っています。この事業には、大学生や教員OB等、子どもたちの良き理解者として協力してくれるボランティアが必要であり、大野城市においてもボランティア募集の呼びかけを行い、県母子寡婦福祉連合会の事業担当コーディネーターへつなぐ支援を行いました。また、会場の提供や大野城市母子寡婦福祉会との連携も引き続き行っていきます。

大野城市で開催されている学習支援ボランティア事業

活動日時 : 毎週木曜日 18時から20時

活動場所 : 大野城市総合福祉センター3階小会議室

活動内容 : 学校授業の補習などの学習支援、児童の進学相談などの対応

登録児童 : 32名

登録ボランティア数 : 17名

※平成27年3月末現在

6 ボランティアセンター登録

★ボランティア登録者数 （団体登録者 539 名 個人登録者 190 名）

★ボランティア団体登録状況

総合福祉センター1階のボランティアセンターを拠点に活動しているボランティアグループの支援を行うとともに、ボランティアセンターはボランティアのたまり場として、なくてはならないスペースであり、コピー機や大型プリンターは各種団体や地域の利用も増えています。また、ボランティア連絡協議会は、ふれあいの旅等において常に協働するとともに、共同募金配分金をととしてその活動への助成を行っています。

大野城市ボランティア連絡協議会

グループ名	活動内容	会員数
大野城手話の会	手話講習会の開催、手話通訳者の派遣、聴覚障がい者との交流会	32 名
点訳サークル あゆみの会	点訳講習会の開催、各種点訳活動、視覚障がい者との交流会	16 名
朗読の会 文鳥	朗読講習会の開催、社協だよりや図書の吹き込み、視覚障がい者との交流会	29 名
スニーカー	手をつなぐ育成会の支援、知的ハンディを持つ方々とのレクリエーション活動	12 名
介護ボランティア ききょう	特別養護老人ホームでのお手伝い、食事サービス利用者への絵手紙づくり	16 名
おもちゃの図書館 あいあい	障がいを持つ子どもも持たない子どもも共に遊ぶおもちゃの図書館の開館、手作りおもちゃの作成	18 名
拡大写本 虹の会	弱視の方から要請のある図書の拡大写本づくり、視覚障がい者との交流会	10 名
車いすダンス アミーゴス	車いすダンスの普及活動、車いす利用者との交流会	56 名
運転ボランティア むつわ	社会福祉協議会のハンディキャブ貸出事業における車両の運転	10 名
大野城要約筆記の会 ぴあ	聴覚障がい者への文字による同時通訳活動、要約筆記奉仕員養成講座の開催	11 名

計 210 名

ボランティアセンター登録グループ

グループ名	活動内容	会員数
まちづくり懇談会	市民サイドからのまちづくり研究、ふるさとづくりを試みる	11 名
NPO法人 アジア女性センター	子どもと女性の人権を守るためのサポート事業、海外支援、交流事業、 提言、ネットワーク事業(調査、研究)	70 名
グループファンタジア	施設や敬老会等でのマジックボランティア活動、マジックによる各種団 体との交流	10 名
創人エイサー守破離太鼓	施設や老人会、地域でのイベント等での演舞	36 名
国際交流協会	コミュニティ活動等を活かした国際交流の推進	111 名
子育てサポーター たけのこ支援	大野城市に引っ越してきた親子等を対象に子育てサロンを開催	10 名
おもちゃ病院大野城	壊れたおもちゃの修理	4 名
花の芽クラブ	障がいのある人となない人が一緒に楽しめる風船バレーボールを通して の交流活動	21 名
ボランティアグループ りんごの会	近隣の公民館や福祉施設等で唄や踊り、楽器演奏などを通しての慰 問活動	5 名
大野城傾聴ボランティア 「ダンボ」	大野城市内の施設等における傾聴ボランティア活動	24 名
大野城学習支援塾	生活困窮家庭の子どもに対する学習支援や保護者への進学助言を行 う	5 名
ADHD 親の会みらい	ADHD(発達障害)の子どもや保護者、発達障害に理解ある者が会員と なり、ADHD の子どもたちが安心して就労できる企業や事業所を訪問し て増やす	11 名
にほんご教室フレンズ	留学生等の外国人に日本語を教え、学習することをおして国際交流 を図り会員相互の理解を深める	5 名
オカリナピエロ	施設でのオカリナ演奏	6 名
計		329 名

25. 声の広報

目の不自由な方や寝たきりの方に、青年団体連絡協議会が市の広報を、朗読の会「文鳥」が社協だより、季節のたより『紙飛行機』、希望図書等をカセットテープに吹き込み、社協が自宅に届ける。

平成 26 年度実績

回	数	:	24回
延べ利用者数	:	244名	

IV. 総合相談事業

総合相談事業 …… 45

26. 総合相談事業

地域住民の悩みを一緒に考え、よりよい解決策をさがし、問題解決を図るため、弁護士による専門相談や常勤相談員による助言を行う場を総合福祉センター内に設けています。

◇市の広報掲載内容

問 社会福祉協議会

☎(572)7700

ふくし何でも相談

福祉の各種相談を随時受け付けています。

電話相談可 ☎(501)3311

※正午から午後1時までは昼休み、土・日・祝日・年末年始は休みです。

弁護士による電話法律相談

生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談です。

☎毎月第2木曜日午前10時～正午
(受付は午前11時40分まで)

☎(501)7830

弁護士による心配ごと相談

生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談です。

☎◇第1～3火曜日午前10時～正午
◇第4火曜日午前10時～午後3時

※受付は午前9時～、
午後0時45分～
事前予約可(午前11時～正午)

平成26年度実績

1 相談内容・状況等

相談員：社協担当職員1名、弁護士7名

協力：民生委員4名

内容：心配ごと相談(第1・2・3・4火曜日)

206件(46回)

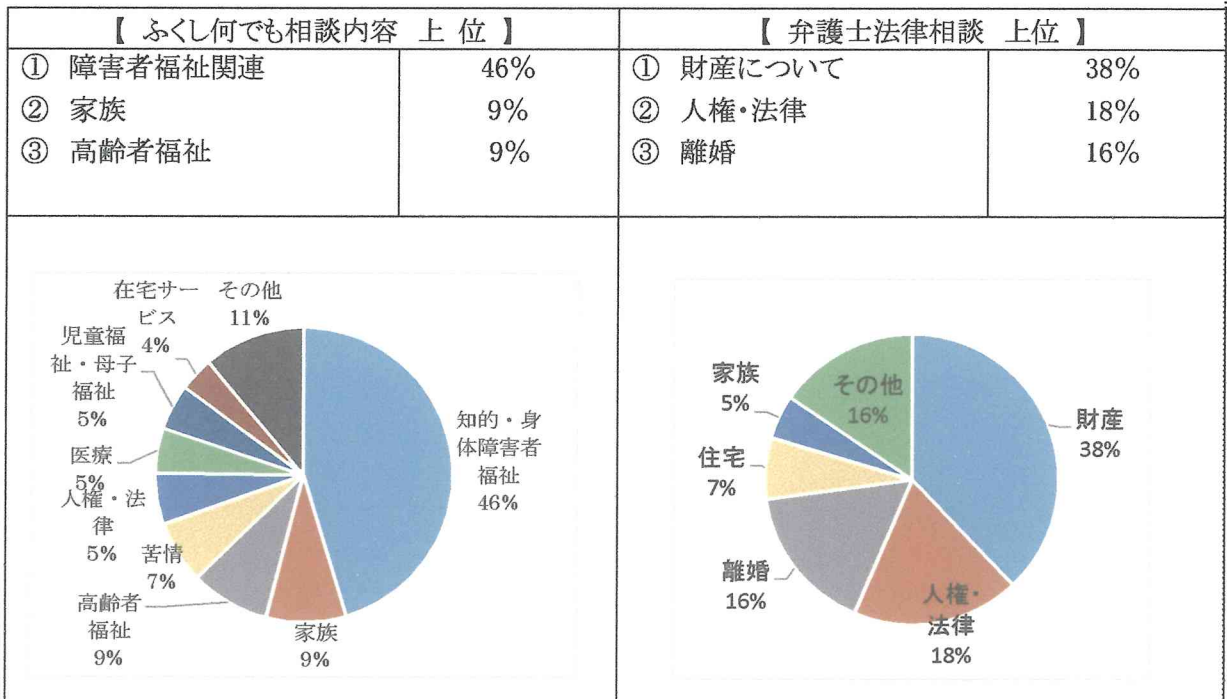
電話法律相談(第2木曜日)

54件(11回)

ふくし何でも相談(月～金曜日)

198件

総合計 458件



*経済の不安定からの生活不安が引き金になっておこる相談事例がふえている。また、実際に弁護士に委任した方がよいと思われる複雑な案件も多くなっている。場合によっては、傾聴・アドバイスにとどまらず他の機関が行っている支援へと確実につなぎ、相談者のよりよい生活へむけて尽力しています。

2 相談員懇談会の開催

市民が活用しやすい相談事業のあり方を協議し、改善点の確認を行い、相談事例の情報交換等を行いました。

期 日	参 加 者
平成 27 年1月 13 日	弁護士 7 名 相談関係職員

3 地域のニーズに応えるための協議・確認事項

他機関においての各種相談との差別化を図り、法律相談以前の身の上相談を含む幅広い相談に対応しています。広報についても担当弁護士と連携を図りながら積極的に取り組み、地域の方に広く利用していただけるよう環境づくりに努めていきます。

V. 介護サービス事業

介護サービス事業 47

27. 介護サービス事業

介護サービス事業については、地域福祉活動の視点をもって社協らしい介護サービス事業を展開すべく職員の資質向上に努めました。

区分	施策	活動内容
介護保険事業	指定居宅介護支援事業	介護支援専門員によるケアプランの作成
	指定訪問介護事業	訪問介護員が居宅に伺い、身体介護・生活援助のホームヘルプサービスの提供 ＜実施＞月～日曜日 7:00～24:00
	指定訪問入浴介護事業	看護職員等が居宅に移動入浴車で伺い、浴槽を搬入し入浴介護サービスの提供 ＜実施＞月～日曜日 8:30～21:00
受託事業	高齢者ホームヘルプサービス事業	介護保険非該当者・介護保険の補完者への生活援助等のホームヘルプサービスの提供
	難病患者等ホームヘルプサービス	難病患者等への生活援助等のホームヘルプサービスの提供
	地域生活支援事業	平成18年10月より新設された障がい福祉サービスの一部 ・移動支援…移動に支援を必要とする方(視覚障がい者等)を対象とした移動支援サービス。屋外での移動が困難な障がい児(者)に対して、学校や通所施設への送迎や外出の訓練等の際に、学校等へ送迎も行います ・訪問入浴サービス…身体障がい者で自力の入浴ができない方への訪問入浴サービス
	訪問入浴サービス事業	身体障がい者の方(65才未満)・介護保険外の高齢者の方への移動入浴車による入浴介護サービスの提供
	タイムケア事業	障がいのある18才以下の子どもに放課後の活動場所を提供するとともに、保護者等の一時的休養を確保するための一時預り事業 ◇すこやか交流プラザ等におけるタイムケア事業 ＜実施＞ 火曜日 15:00～18:30 第1・第3土曜日、第4日曜日 9:30～17:30 冬休み、春休み期間中の火、金曜日 9:30～17:30 ◇特別支援学級が設置されている、小中学校内における(ヘルパー等を派遣する)タイムケア事業 ＜実施＞ 長期休暇中や学校休校日を除く月～金曜日 学校終業時～17:00
	学童保育ホームヘルパー派遣	学童保育所における障がい児に対するホームヘルパー派遣
	赤ちゃんホームヘルプサービス	基本的には生後8週間以内の赤ちゃんのいる家庭を対象に、日常支援が必要な場合にホームヘルパーを派遣する
	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	生後4か月未満の乳児のいる家庭に訪問し、育児に関する不安や悩みの聴取・相談、親子の心身の状況や養育環境の把握、子育て支援に関する情報提供を行う

区分	施策	活動内容
障害福祉サービス	居宅介護	ホームヘルプサービスと呼ばれているサービスで、自宅で入浴・排泄・食事などの介護を行います
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者で、常に介護が必要な障がい者に、自宅で入浴・排泄・食事の介助を行います。外出時の移動を助け、移動中の介護も行います
	行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な障がい者に、行動するときの危険を回避する援助や外出時の移動の補助を行います
	同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する者に、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排泄・食事等の介護等を行います
	指定特定相談支援	サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行います
制度外	ほっとサポート	①制度上(障害者総合支援法、介護保険等)のホームヘルパー派遣において制限をうける人 ②ホームヘルパーの派遣をうけないと日常生活に支障をきたす人を対象とするサービス。地域の中で安心して暮らせるように、日常生活に必要な介護等の支援を行うことを目的とした大野城市社会福祉協議会独自の事業

平成 26 年度実績

1 介護サービス状況

巻末資料「別表 2」平成 26 年度 介護サービス状況」P 58、59、60 参照

2 制度外介護サービス状況

巻末資料「別表 3」ほっとサポート状況」P 61 参照

3 介護サービス研修会

巻末資料「別表 4」平成 26 年度 介護サービス研修会開催状況」P 62 参照

4 実習生受け入れ状況

◇平成26年度 訪問介護実習生受け入れ状況

団体名		人数
麻生医療福祉専門学校	7/24, 25	4
	8/18, 19, 20, 21, 26, 27	
	10/2, 3	2
	12/4, 5	2
	1/22, 23	2
北筑前福祉会（宗寿園）	8/4, 5	1
合 計		11

VI. 総合福祉センター

総合福祉センター 49

28. 総合福祉センター

総合福祉センター1階の交流スペース「ほっとぴあ」、また「ボランティアセンター」は、毎日多くの市民の方に利用していただいております。また、2階、3階会議室等においては、机等の器具の買い替えを行い、より利用しやすいよう環境整備に日々努めています。

今後も、市民に開放された、誰もが利用しやすい福祉センターとして、また本来の目的である福祉活動の拠点として運営を行います。

平成26年度実績

	社 協		①福祉団体等		②行政関係		一般有料		合 計	
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4 月	18	220	189	1424	9	235	14	498	230	2377
5 月	16	189	102	1309	8	195	20	757	146	2450
6 月	17	202	98	1288	9	193	26	1383	150	3066
7 月	19	269	113	1578	5	96	20	815	157	2758
8 月	15	270	86	1078	8	257	14	868	123	2473
9 月	18	356	110	1512	7	188	17	1036	152	3092
10 月	20	323	120	1747	9	605	19	1269	168	3944
11 月	17	306	120	1789	10	987	24	1421	171	4503
12 月	21	338	84	1243	9	457	14	665	128	2703
1 月	12	153	92	1123	10	267	22	1117	136	2660
2 月	14	199	108	1360	13	442	16	779	151	2780
3 月	23	317	154	1455	10	285	19	942	206	2999
合計	210	3142	1376	16906	107	4207	225	11550	1918	35805

平成26年度 総合福祉センター利用状況 ①福祉団体等

	福 祉 団 体 等						合 計	
	ボランティア		福祉関係		その他			
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4 月	152	727	23	597	14	100	189	1424
5 月	72	773	17	450	13	86	102	1309
6 月	65	691	17	463	16	134	98	1288
7 月	86	1073	16	438	11	67	113	1578
8 月	60	658	17	368	9	52	86	1078
9 月	71	877	26	589	13	46	110	1512
10 月	80	992	27	675	13	80	120	1747
11 月	88	1060	32	729	0	0	120	1789
12 月	60	782	11	294	13	167	84	1243
1 月	69	876	11	176	12	71	92	1123
2 月	77	905	19	392	12	63	108	1360
3 月	118	847	19	379	17	229	154	1455
合計	998	10261	235	5550	143	1095	1376	16906

◇平成26年度 総合福祉センター利用状況 ②行政関係

	行 政 関 係									
	福祉		教育		総務		その他		合 計	
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	9	235	0	0	0	0	0	0	9	235
5月	5	42	1	100	0	0	2	53	8	195
6月	4	73	0	0	0	0	5	120	9	193
7月	4	46	0	0	0	0	1	50	5	96
8月	8	257	0	0	0	0	0	0	8	257
9月	5	132	0	0	0	0	2	56	7	188
10月	5	150	0	0	0	0	4	455	9	605
11月	4	120	2	850	0	0	4	17	10	987
12月	7	255	1	200	0	0	1	2	9	457
1月	5	135	3	120	0	0	2	12	10	267
2月	10	292	1	100	0	0	2	50	13	442
3月	5	53	3	30	0	0	2	202	10	285
合計	71	1790	11	1400	0	0	25	1017	107	4207

1 耐震診断調査について

昭和56年3月に建てられた大野城市総合福祉センターについて、国の定める適用基準（建築物の耐震改修の促進に関する法律、建築基準法及び関係法令等）に則した形で、耐震診断調査を行いました。

診断調査の結果、本建物は、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は、崩壊する危険性が低い」と診断されました。（大野城市総合福祉センター耐震診断調査業務報告書より）

そのため、現時点では補強工事等は予定していませんが、外壁のひび割れ、漏水等が生じているため、修繕等が必要な箇所があります。引き続き日常的な修繕等行いながら、より快適な環境づくりに努めていきます。

委託（調査）期間：平成26年7月22日～平成27年2月20日

VII. 権利擁護事業

日常生活自立支援事業 52

法人後見事業についての調査研究事業 52

29. 日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づき、認知症の方、知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分なため日常生活が困難な方に対して、自立した地域生活が送れるように社協に生活支援員（兼務）を配置し、福祉サービスの利用や日常的金銭管理、書類等（権利書、預貯金通帳）の預かり等のサポートを行っています。

地域福祉関係者を生活支援員とした事業として、生活支援員を段階的に増員していきます。

平成 26 年度実績

平成26年度 新規相談件数 8 件（男性 4 件 女性 4 件）

類型内訳：認知症 3 件 知的 2 件 精神 3 件 その他 0 件

支援内訳：相談のみ 3 件 相談中 0 件 利用開始 4 件 契約対象外 1 件

平成27年3月末時点での利用者：14 件（男性 7 件 女性 7 件）

類型内訳：認知症 10 件 知的 2 件 精神 2 件 その他 0 件

◇平成26年度 生活支援員 援助活動実績表

	件数	回数	終了	開始
4月	13	27		1
5月	14	28		1
6月	14	23		
7月	15	23		1
8月	15	29		
9月	15	26	1	1
10月	16	33		1
11月	17	29		1
12月	17	28	1	
1月	16	25		
2月	16	26	1	
3月	15	28	1	
合計	183	325	4	6

◇新たに生活支援員として活動する人を対象に研修会を開催しました。

（平成27年3月18日 新・生活支援員 4名）

30. 法人後見事業についての調査研究事業

法人後見事業については、市役所の関係部署との協議を重ね、第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画の目標に位置づけし、権利擁護事業のシステムを創る、ひとつの方策として計画的に実施していくことになりました。

VIII. 寄附採納事業

寄附採納事業 53

31. 寄附採納事業

寄附金は在宅高齢者・障がい者の方への支援事業やボランティアセンター運営事業など社会福祉協議会が行なう民間社会福祉事業に活用されています。

※寄附種別

- 一般寄附 …… 個人、団体の善意による寄附
- 香典返し寄附 …… 故人並びにご遺族のご遺志による寄附
- 指定寄附 …… 指定した事業に充てられる寄附
- 物品寄附 …… 車いす、紙オムツなど物品による寄附

平成 26 年度実績

◇寄附採納事業実績

寄附種別	件 数	寄附内容
一 般 寄 附	49件	1, 938, 325円
指 定 寄 附	1件	3, 034, 800円
香 典 返 し 寄 附	28件	2, 786, 170円
(合 計)	78件	7, 759, 295円
物 品 寄 附	85件	紙おむつ・介護消耗品類18件 マスク4箱 車椅子9台 エアーマット1台 シャワーチェア5台 ポータブルトイレ2件 杖10本 パジャマ4枚 寝具3件 ガーゼ三角巾 食器 お菓子(段ボール約30箱分) クリスマスケーキ・ブーツ菓子 うどんスープ・中華めん 音楽カセットテープ ラジオ2台 プレーヤー3台 ベビーカー2台 ジュニアシート1台 おもちゃ 毛糸・レース糸 衣類 安土城(模型作成一式) 文具 複合機 ハロゲンヒーター テレフォンカード6枚 コンサートチケット カレンダー 未使用切手・ハガキ(一般寄附へ)

―税控除の適応について―<社会福祉協議会へのご寄附は特定寄附金です>

個人寄附者

寄附金控除額 = $\frac{\text{1月～12月まで 特定寄附金 総所得の40\%相当額}}{\text{どちらか 少ない額}}$ - 2, 000円

企業寄附者

全額損金算入限度額 = $\frac{\text{1月～12月まで (資本金の0.25\%)+(所得の金額の5\%)} \div 2}{}$

★税制改正により変更になることがありますので、詳しくは税務署までお問い合わせください。

IX. そ の 他 の 事 業

第 15 回大野城市総合福祉まつり		54
社会福祉援助技術現場実習受け入れ		54
職員の資格（取得）状況		55
職員内部研修		56

32. 第15回大野城市総合福祉まつり ～大野城市手をつなぐ育成会創立40周年記念～

市内の福祉関係団体で組織された実行委員会が各種団体の活性化を図るとともに、市民参加を推進しながら地域福祉に対する市民の理解と高揚を図ることを目的に、総合福祉まつりを開催しています。

今年は大野城市手をつなぐ育成会が創立40周年を迎えられ、式典の中で大野城まどかぴあの林田館長による記念講演も行なわれました。他にも、まどかぴあ大ホールでは歌や踊り等のアトラクション、多目的ホールではボランティア体験コーナーや子どもたちのプレイゾーンなど設置され、多くの人が訪れました。屋外はあいにくの雨にもかかわらず、バザーや作品販売、大野城市民などによるフリーマーケットを開き、多くの来場者のふれあいの場となりました。

平成26年度実績

- 内 容：式典、アトラクション、作品展示販売コーナー、フリーマーケット、福祉お楽しみコーナー（紙芝居、バルーンアート、ボランティア体験）
- 期 日：平成26年11月30日（日）
- 場 所：大野城まどかぴあ及び総合福祉センター周辺
- 参 加 者：約2,100人
- 主 催：大野城市総合福祉まつり実行委員会
- 共 催：大野城市・大野城市社会福祉協議会

33. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ

将来の福祉従事者を育成する一環として、各学校からの実習生の受け入れを行なっています。実習内容は、社会福祉協議会の事業全般にはじまり、介護サービス（訪問介護、訪問入浴）、障がい者地域活動支援センターでの施設実習、コミュニティワーカーの地域福祉活動の現場実習等、様々なカリキュラムを組んでいます。

平成26年度実績

◇実習生受け入れ状況

実 習 期 間		大 学 名	人数
平成26年度	8月11日（月）～ 9月17日（水）	西南学院大学	1
	8月11日（月）～ 9月18日（木）	筑紫女学園大学	1
	8月18日（月）～ 9月19日（金）	九州保健福祉大学	1
延べ日数 77日			延べ人数3人

34. 職員の資格（取得）状況

社協職員は業務上、必要な資格を持ち合わせていなければならない場合があり、職員が自らの仕事力を高めるために様々な資格の取得に努力しています。

資格等名	社会福祉士	社会福祉主事	精神保健福祉士	ボランティアコーディネーション		社協会計実務通信講座				簿記3級以上	応急手当普及員	防災士	防火管理者	介護支援専門員	主任介護支援専門員	看護師	介護福祉士		ホームヘルパー		介護職員基礎研修課程	ガイドヘルパー	社会福祉士実習指導者	成年後見人養成	認知症センター方式地域推進員	認知症キャリアバンメイト
				3級	2級	上級	中級	初級	入門								1級	2級								
事務局 21名	6	5		5	2	1	1	2	2	4	5	4	4	1			1		5			1				
介護サービス 50名	3			1						7	5		3	8	1	4	25	5	34	1	11	2	2	1	7	
総数 71名	9	5	0	6	2	1	1	2	2	11	10	4	7	9	1	4	26	5	39	1	11	3	2	1	7	

資格等名	行動援助	障がい者ヘルパー	精神障がい者ヘルパー	難病ヘルパー	保育士	認知症ケア専門士	幼稚園教諭	ベビーマッサージ	福祉住環境	福祉用具相談専門員	介護クラーク事務	医療事務	調理師	栄養士	学校教諭	同行援助	社会保険労務士	図書館司書	介護福祉士実習指導者	障害者相談支援従事者	バリデーション	喀痰吸引（第3号）	第二種衛生管理者	介護キャリアアセッサー
事務局 21名					1		1					3			1		1			1			1	1
介護サービス 50名	6	7	11	11	5	1	3	1	4	2	2	3	1	1	1	4		1	1	4	1	1	1	2
総数 71名	6	7	11	11	6	1	4	1	4	2	2	6	1	1	2	4	1	1	1	5	1	1	2	3

35. 職員内部研修

◇平成26年度職員内部研修

①接遇研修

開催月日	平成26年6月14日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員43名
研修内容	接遇研修 講師:金生 郁子 (金生塾主宰)

②危機管理研修

開催月日	平成26年12月13日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員53名
研修内容	危機管理研修 講師:三原 啓資 (春日安全運転管理協議会 事務局長)

③人権研修

開催月日	平成27年1月10日
開催場所	大野城まどかびあ小ホール
参加者	職員18名
研修内容	人権研修 (大野城市平野福祉基金 福祉啓発事業) 「困難を乗り越え強く生きる ～人間として最も大切なこと～」 講師:濱宮 郷詞

○事務局職員現場体験

- ・介護現場体験 (ヘルパー同行) 11名
- ・配食現場体験 (配食同行) 4名

資 料

別表 1	社協会員推進状況	・・・ 57
別表 2	介護サービス状況	・・・ 58
別表 3	ほっとサポート状況	・・・ 61
別表 4	介護サービス研修会開催状況	・・・ 62
別表 5	福祉食事サービス利用状況	・・・ 63
別表 6	職員研修参加等実績	・・・ 64

別表1

平成26年度社協会員推進状況

区別	一般会員			賛助会員			特別会員			平成26年度実績			平成25年度実績			前年度比較
	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	
牛頭	889	996	497,800	1	1	2,000	0	0	0	890	997	499,800	994	994	509,000	△ 9,200
若草	523	608	304,400	1	1	2,000	2	2	10,000	526	611	316,400	560	560	282,900	33,500
平野台	962	962	481,000	1	1	2,000	0	0	0	963	963	483,000	967	967	491,000	△ 8,000
月の浦	1,149	1,278	639,000	0	0	0	0	0	0	1,149	1,278	639,000	1,235	1,235	619,000	20,000
南ヶ丘1	1,839	1,869	934,500	0	0	0	0	0	0	1,839	1,869	934,500	1,850	1,850	925,000	9,500
南ヶ丘2	1,059	1,059	529,500	0	0	0	0	0	0	1,059	1,059	529,500	1,055	1,055	527,500	2,000
つつじヶ丘	984	1,136	568,000	0	0	0	0	0	0	984	1,136	568,000	1,173	1,173	588,000	△ 20,000
上大利	75	1,496	748,000	1	1	2,000	0	0	0	76	1,497	750,000	1,477	1,477	740,000	10,000
下大利	422	797	398,500	0	0	0	4	4	20,000	426	801	418,500	740	740	386,500	32,000
東大利	728	1,076	548,800	0	0	0	3	3	15,000	731	1,079	563,800	888	888	437,500	126,300
下大利団地	470	480	240,000	2	2	4,000	0	0	0	472	482	244,000	503	503	254,500	△ 10,500
白木原	204	1,102	551,000	2	2	4,000	1	1	5,000	207	1,105	560,000	833	833	424,000	136,000
瓦田	428	1,065	532,500	31	31	62,000	6	7	35,000	465	1,103	629,500	1,079	1,079	632,685	△ 3,185
釜蓋	48	519	259,500	4	4	8,000	3	3	15,000	55	526	282,500	522	522	267,000	15,500
井の口	490	490	245,000	0	0	0	0	0	0	490	490	245,000	456	456	228,000	17,000
中	531	869	434,500	1	1	2,000	0	0	0	532	870	436,500	835	835	420,500	16,000
乙金	116	277	141,060	3	3	6,000	1	1	5,000	120	281	152,060	296	296	156,850	△ 4,790
乙金台	492	492	246,000	0	0	0	0	0	0	492	492	246,000	493	493	248,000	△ 2,000
乙金東	437	437	218,500	0	0	0	0	0	0	437	437	218,500	423	423	213,000	5,500
大池	392	392	196,000	0	0	0	1	2	10,000	393	394	206,000	398	398	199,000	7,000
上筒井	685	1,430	715,000	0	0	0	0	0	0	685	1,430	715,000	1,222	1,222	617,000	98,000
下筒井	273	433	216,500	3	3	6,000	2	2	10,000	278	438	232,500	452	452	238,000	△ 5,500
山田	587	607	303,500	3	3	6,000	0	0	0	590	610	309,500	585	585	300,000	9,500
雑餉隈町	117	128	64,000	1	1	2,000	4	4	20,000	122	133	86,000	131	131	89,500	△ 3,500
栄町	87	99	49,500	3	3	6,000	2	2	10,000	92	104	65,500	102	102	61,500	4,000
仲島	145	192	96,000	2	2	4,000	0	0	0	147	194	100,000	212	212	107,500	△ 7,500
畑話	118	204	102,000	0	0	0	0	0	0	118	204	102,000	204	204	102,000	0
シニアクラブ	3	3	1,500	3	3	6,000	13	15	75,000	19	21	82,500	18	18	79,500	3,000
食改善	0	0	0	0	0	0	20	39	195,000	20	39	195,000	43	43	212,000	△ 17,000
企業・団体	8	11	5,500	3	3	6,000	22	24	120,000	33	38	131,500	49	49	140,000	△ 8,500
リトカ利用者	3	3	1,500	7	7	14,000	17	17	85,000	27	27	100,500	34	34	117,500	△ 17,000
ハンディキャップ利用者	4	7	3,500	7	7	14,000	2	2	10,000	13	16	27,500	6	6	12,000	15,500
福祉機器利用者	6	18	9,000	2	2	4,000	0	0	0	8	20	13,000	15	15	7,500	5,500
個人																0
合計	14,274	20,535	10,281,060	81	81	162,000	103	128	640,000	14,458	20,744	11,083,060	19,850	19,850	10,633,935	449,125

別表 2 平成26年度 介護サービス状況

			H26						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)		117	120	122	119	118	115	
	介護予防ケアプラン作成(人)		4	3	2	2	2	3	
	指定訪問介護(人)		47	49	49	44	49	48	
	指定介護予防訪問介護(人)		53	54	53	48	48	50	
	指定訪問入浴(人)		4	3	3	3	2	2	
	指定予防訪問入浴(人)		-	-	-	-	-	-	
	件数合計		225	229	229	216	219	218	
	ヘルパー実働 (時間)	身体介護	156.50	164.50	156.00	152.00	143.00	146.00	
		生活援助	361.58	355.40	359.80	370.16	346.31	322.08	
		護	302.93	306.66	270.18	290.68	262.66	288.93	
計		821.01	826.56	785.98	812.84	751.97	757.01		
入浴スタッフ稼働回数		実施	28.00	26.00	23.00	12.00	10.00	4.00	
		キャンセル	-	-	1	-	1	-	
障害福祉サービス	居宅介護	対象者 (人)	障害者	21	18	18	18	18	18
			知的障害者	2	2	2	2	3	3
			障害児	2	2	2	2	2	2
			計	25	22	22	22	23	23
		身体介護 (時間)	障害者	118.50	96.00	115.50	130.00	106.00	130.50
			知的障害者	23.00	26.00	31.00	30.50	31.50	28.50
			障害児	33.50	34.50	53.00	34.00	25.00	51.00
			計	175.00	156.50	199.50	194.50	162.50	210.00
		家事援助 (時間)	障害者	144.00	132.00	127.50	132.50	116.00	131.50
			知的障害者	11.00	10.00	10.00	12.00	9.00	19.00
			障害児	-	-	-	-	-	-
			計	155.00	142.00	137.50	144.50	125.00	150.50
	合 計		330.00	298.50	337.00	339.00	287.50	360.50	
	行動援護	対象者 (人)	障害者	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	1	1	1	1	1	-
			障害児	-	-	-	-	-	-
			計	1	1	1	1	1	-
		時 間	障害者	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	9.00	10.00	10.00	10.00	2.50	-
			障害児	-	-	-	-	-	-
			計	9.00	10.00	10.00	10.00	2.50	-
	同行援護	対象者 (人)	視覚障害者	4	4	4	4	5	3
			計	4	4	4	4	5	3
		時 間	視覚障害者	23.00	19.50	29.50	29.50	27.50	22.50
計			23.00	19.50	29.50	29.50	27.50	22.50	
地域生活支援事業	対象者 (人)	障害者	2	2	3	2	2	3	
		知的障害者	2	1	2	1	1	1	
		障害児	11	11	10	13	4	7	
		計	15	14	15	16	7	11	
	移動身体 あり(時間)	障害者	4.00	6.00	6.50	6.00	2.00	6.00	
		知的障害者	4.00	4.00	3.00	4.00	4.00	3.00	
		障害児	41.00	30.50	51.50	40.50	12.00	33.50	
		計	49.00	40.50	61.00	50.50	18.00	42.50	
	移動身体 なし(時間)	障害者	5.50	5.00	6.50	2.50	5.00	3.50	
		知的障害者	5.00	-	3.00	-	-	-	
		障害児	13.50	16.50	18.50	18.00	5.50	16.50	
		計	24.00	21.50	28.00	20.50	10.50	20.00	
	合 計		73.00	62.00	89.00	71.00	28.50	62.50	
	入浴事業対象者(人)		1	2	1	1	2	2	
障害者(回)		8	6	2	2	6	10		
計		16	16	16	17	9	13		
障害福祉対象者計			46	43	43	44	38	39	
サービス利用者 計			271	272	272	260	257	257	
ヘルパー総稼働時間数			1,256.01	1,216.56	1,251.48	1,262.34	1,097.97	1,202.51	
入浴事業稼働回数			36	32	25	14	16	14	

			H26			H27			合 計	
			10月	11月	12月	1月	2月	3月		
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)		111	115	114	118	111	108	1,388	
	介護予防ケアプラン作成(人)		4	4	4	4	5	4	41	
	指定訪問介護(人)		43	44	47	57	52	56	585	
	指定介護予防訪問介護(人)		49	48	45	45	44	40	577	
	指定訪問入浴(人)		2	2	3	4	2	3	33	
	指定予防訪問入浴(人)		-	-	-	-	-	-	0	
	件数合計		209	213	213	228	214	211	2,624	
	ヘルパー実働 (時間)	身体介護	153.00	143.50	133.50	143.00	140.50	176.50	1,808.00	
		生活援助	310.00	300.43	348.71	328.48	312.06	342.03	4,057.04	
		予防訪問介護	303.23	271.50	273.73	237.00	234.00	240.00	3,281.50	
計		766.23	715.43	755.94	708.48	686.56	758.53	9,146.54		
入浴スタッフ稼働回数	実施	6.00	6.00	13.00	10.00	11.00	15.00	164.00		
	キャンセル	-	1	1	1	-	-	5		
障害福祉サービス	居宅介護	対象者 (人)	障害者	18	17	17	17	19	17	216
			知的障害者	3	3	3	3	3	3	32
			障害児	1	1	1	1	1	1	18
			計	22	21	21	21	23	21	266
		身体介護 (時間)	障害者	138.50	125.00	126.50	116.50	132.00	137.50	1,472.50
			知的障害者	32.50	26.50	32.50	28.50	27.50	33.00	351.00
			障害児	55.00	50.50	6.50	29.50	49.50	39.00	461.00
			計	226.00	202.00	165.50	174.50	209.00	209.50	2,284.50
		家事援助 (時間)	障害者	128.50	111.50	117.00	107.00	121.00	133.50	1,502.00
			知的障害者	20.00	20.00	21.00	18.00	19.00	21.00	190.00
			障害児	-	-	-	-	0.50	-	0.5
			計	148.50	131.50	138.00	125.00	140.50	154.50	1,692.50
		合 計		374.50	333.50	303.50	299.50	349.50	364.00	3,977.00
	行動支援	対象者 (人)	障害者	-	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	2	1	-	-	1	1	10
			障害児	-	-	-	-	-	-	-
			計	2	1	-	-	1	1	10
		時 間	障害者	-	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	13.00	3.00	-	-	9.00	10.00	76.50
			障害児	-	-	-	-	-	-	-
			計	13.00	3.00	-	-	9.00	10.00	76.50
	同行支援	対象者 (人)	視覚障害者	3	3	5	4	3	3	45
			計	3	3	5	4	3	3	45
		時 間	視覚障害者	28.50	20.50	30.50	22.00	28.50	26.00	307.50
			計	28.50	20.50	30.50	22.00	28.50	26.00	307.50
	地域生活支援事業	対象者 (人)	障害者	1	1	1	1	1	2	21
			知的障害者	1	2	1	2	1	3	18
			障害児	10	11	9	7	7	8	108
			計	12	14	11	10	9	13	147
		移動身体あり (時間)	障害者	-	-	-	-	-	7.00	37.50
			知的障害者	4.00	5.00	4.00	6.00	3.00	5.00	49.00
			障害児	41.50	33.00	30.00	24.50	31.50	19.00	388.50
			計	45.50	38.00	34.00	30.50	34.50	31.00	475.00
		移動身体なし (時間)	障害者	7.00	7.00	2.50	9.00	7.50	7.50	68.50
			知的障害者	-	-	-	-	-	5.00	13.00
			障害児	19.50	28.00	15.50	15.00	18.50	16.00	201.00
			計	26.50	35.00	18.00	24.00	26.00	28.50	282.50
		合 計		72.00	73.00	52.00	54.50	60.50	59.50	757.50
		入浴事業対象者(人)		2	2	2	2	1	1	19
		障害者(回)		11	11	10	9	8	9	92
		計		14	16	13	12	10	14	166
		障害福祉対象者計		41	41	39	37	37	39	487
	サービス利用者 計		250	254	252	265	251	250	3,111	
	ヘルパー総稼働時間数		1,254.23	1,145.43	1,141.94	1,084.48	1,134.06	1,218.03	14,265.04	
	入浴事業稼働回数		17	17	23	19	19	24	256	

別表2 平成26年度 介護サービス状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受 託	対象者(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	身体介護 (時間)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活援助 (時間)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合 計 (時間)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	対象者(人)	41	18	27	35	27	31	29	15	27	22	26	34	332
	時間	361.50	154.00	224.00	301.00	272.00	258.50	240.00	132.50	213.50	206.00	225.00	290.00	2,878.00
	対象者(人)	5	5	5	3	-	6	15	7	5	5	6	3	65
	時間	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4
学 童	計	5	5	5	7	-	6	15	7	5	5	6	3	69
	小学校	9.00	5.00	5.00	3.50	-	7.00	19.00	7.50	5.00	5.00	7.00	3.00	76.00
	中学校	-	-	-	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00
	計	9.00	5.00	5.00	8.50	-	7.00	19.00	7.50	5.00	5.00	7.00	3.00	81.00
	対象者(延べ人数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	対象者(延べ人数)	2	1	9	14	15	9	9	10	12	15	6	44	146
	時間	2.0	1.0	10.0	17.0	21.0	18.0	14.0	14.0	16.0	16.0	13.0	48.0	190.0
	回 数	2	1	9	14	15	9	9	10	12	15	6	44	146
	対象者数	7	4	4	6	7	6	5	7	5	2	5	5	63
サービス利用者 計	訪問終了者	7	3	6	5	6	3	9	7	2	5	4	4	61
	合計	55	27	47	61	48	49	62	39	46	47	42	85	608

別表

ほっとサポート状況(平成26年4月～平成27年3月)

のべ利用者 646 名

実利用者数 21 名

単価(1時間:1,300円)

内 容	利用時間	単価	回数	時 間	金 額
病院診察待ち時間他	30分	650	22	11 H	14,300
〃	30分 (時間外)	750	2	1 H	1,500
〃	1時間	1,300	395	395 H	513,500
	1時間 (時間外)	1,400	1	1 H	1,400
〃	1時間 (時間外)	1,500	59	59 H	88,500
〃	1時間30分	1,950	28	42 H	54,600
〃	1時間30分 (時間外)	2,050	8	12 H	16,400
〃	1時間30分 (時間外)	2,150	35	52.5 H	75,250
〃	1時間30分 (時間外)	2,216	3	4.5 H	6,648
〃	2時間	2,600	9	18 H	23,400
〃	2時間 (時間外)	2,800	78	156 H	218,400
	2時間30分	3,250	1	2.5 H	3,250
〃	2時間30分 (時間外)	3,750	1	2.5 H	3,750
〃	2時間30分 (時間外)	4,500	1	2.5 H	4,500
〃	3時間	3,900	2	6 H	7,800
〃	6時間30分	8,450	1	6.5 H	8,450
合 計			646	772 H	1,041,648

平成26年度介護サービス研修会開催状況

別表 4

	訪問介護	訪問入浴	居宅介護
4月12日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○2014年度の方針について(担当 松田)	○	○	○ 居宅連絡会
5月10日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○交通安全講習会(担当 福島)	○	○	○
6月14日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室(事務局合同) ○従業者の接遇(担当 萩尾)	○	○	○ 居宅連絡会
7月12日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○感染症対策について(担当 佐々木)	○	○	○ 居宅連絡会
8月9日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○認知症(担当 鬼塚主任)	○	○	○
9月13日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○訪問入浴(担当 古川)	○	○	○ 居宅連絡会
10月11・25日(土)アクラスタウン ○施設見学(担当 松尾)	○	○	○ 居宅連絡会
11月8日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○生活介護技術(担当 秦主任)	○	○	○
12月13日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室(事務局合同) ○危機管理研修(担当 中山)	○	○	○ 居宅連絡会
1月10日(土) 9:30～11:30 社協3F大会議室 ○基調講演「困難を乗り越えて強く生きる」講師:濱宮郷詞氏(担当 福島係長)	○	○	○ 居宅連絡会
2月14日(土) 9:00～12:00 春日・大野城・那珂川消防本部3階(事務局合同) ○救命救急講習(担当 阿相係長・萩尾・古川・金丸)	○	○	○
3月14日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○平成27年制度改正について(担当 福島係長・井上)	○	○	○ 居宅連絡会

訪問介護・訪問入浴職員全員参加(新任職員も含む)、毎回ヒヤリハット報告・事務連絡あり。
居宅介護については、大野城市居宅介護支援事業者連絡会に原則全員参加し、居宅連絡会がない場合には筑紫地区介護支援専門員連絡協議会の研修に参加する。

平成26年度福祉食事サービス利用状況

月	利用者数	利 用 食 数			1日平均利用者			当 月 利 用 者 世 帯 状 況						未 利 用 者 内 訳					新規
		昼食	夕食	計	昼食	夕食	1日	単身	高齢者	身障者	知障者	精障者	その他	中止	入院	施設	死亡	その他	
4月	73	532	1,364	1,896	18	45	63	50	4	5	1	1	12	10	2	0	0	2	4
5月	78	591	1,531	2,122	19	49	68	54	7	5	1	1	10	7	0	0	0	2	5
6月	77	536	1,521	2,057	18	51	69	53	7	5	1	1	10	4	4	0	0	2	0
7月	72	555	1,496	2,051	18	48	66	50	5	5	1	1	10	2	1	1	0	2	3
8月	76	579	1,537	2,116	19	49	68	54	4	5	1	2	10	4	1	0	1	2	4
9月	74	595	1,541	2,136	20	51	71	54	4	4	1	1	10	2	1	0	1	0	3
10月	78	604	1,631	2,235	19	53	72	58	4	4	1	1	10	2	2	0	0	2	3
11月	84	581	1,607	2,188	19	54	73	63	4	4	1	1	11	2	2	0	0	2	6
12月	83	656	1,699	2,355	21	55	76	64	4	3	1	2	9	4	1	1	1	2	3
1月	80	594	1,600	2,194	19	51	70	61	4	3	1	2	9	3	4	0	2	0	2
2月	77	506	1,463	1,969	18	52	70	58	4	3	1	2	9	3	2	0	0	1	1
3月	78	549	1,731	2,280	17	56	73	59	4	3	1	2	9	0	2	0	0	1	1
合計	930	6,878	18,721	25,599										43	22	2	5	18	35

別表6 職員研修参加等実績

◇ 外部研修

赤い羽根データベースはねつと新システム操作説明会	4/8	クローバープラザ	岡部
新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム	4/25	アクロス福岡	井上
平成 26 年度市町村社会福祉協議会新任職員研修会	4/25	クローバープラザ	田端
学習支援ボランティア研修会	4/27	クローバープラザ	高原
介護保険制度改正セミナー	5/16	リファレンス駅東ビル	井上
平成 26 年度社会福祉施設職員研修 課題研修	5/30・6/6・6/17	クローバープラザ	井上
平成 26 年度訪問介護適正実施研修(サービス提供責任者研修)基礎コース	6/5・6/12	クローバープラザ	佐々木
平成 26 年度福岡県ホームヘルパー連絡会総会・研修会	6/22	クローバープラザ	福島・秦・幸・松田・佐々木
応急手当普及員再講習	7/9	春日・大野城・那珂川消防署	福島・萩尾
実習指導者フォローアップ研修	7/12	クローバープラザ	中村
平成 26 年度職場におけるメンタルヘルス対策セミナー	7/17	福岡合同庁舎	井上・伊藤
第 3 回大野城市子ども療育支援センター事業研修会	7/30	大野城まどかぴあ	高原・橋川・萩尾・秦・松田
同行介護従事者養成研修	8/2・8/19	MSビル	幸
社会福祉法人悠生会「介護セミナー」	8/9	悠生会	井上・萩尾
定期巡回・随時対応サービス等起業セミナー	8/19	TKP 博多駅前シティセンター	小谷
平成 26 年度福祉教育セミナー	8/21	クローバープラザ	栗津
平成 26 年度第 1 回非常勤・登録ホームヘルパー地区研修会	8/23	筑後市社会福祉協議会	松田・佐々木
応急手当普及員講習	8/25～8/27	春日・大野城・那珂川消防署	古川
平成 26 年度 10 市 1 町社会福祉協議会連絡協議会	8/29	糸島市健康福祉センターあごら	松田会長・小谷
平成 26 年度福岡県共同基金金担当職員研修会	9/1	天神ビル	岡部
平成 26 年度福岡県人権相談従事職員研修	9/4・9/11・9/18・9/25	福岡県人権啓発情報センター	金丸
平成 26 年度第 1 回非常勤・登録ホームヘルパー地区研修会	9/6	大野城市総合福祉センター	秦・福島・松尾・古川
社会福祉協議会とコミュニティワークについて考える社協中堅職員の集い	9/9	福岡県立大学	栗津
平成 26 年度大野城市障がい者福祉講演会	9/9	大野城市総合福祉センター	井上
平成 26 年度社会福祉施設職員研修 基礎研修Ⅱ	9/11	クローバープラザ	秦
平成 26 年度福岡県相談支援従事者初任者研修	9/11・9/12・10/24・ 11/27・11/28	ウェルとばた	茅野
平成 26 年度福岡県相談支援従事者初任者研修	9/11・9/12	ウェルとばた	小谷・井上・萩尾
平成 26 年度アルコール依存症講演会	9/30	福岡県筑紫総合庁舎	高原・金丸・松田
平成 26 年度社会福祉施設職員研修 訪問介護員研修Ⅰ	10/1	クローバープラザ	松尾
障がいのある人となない人のスポーツ・レクリエーション交流事業勉強会	10/3	北コミュニティセンター	馬場
平成 26 年度第 2 回大野城市地域密着型サービス事業所情報交換会・勉強会	10/9	大野城市役所	中村
平成 26 年度子育て支援センター「親子あそび・リーダー養成講座」	10/10・11/14・12/12・ 1/9・2/13・3/6	子育て支援センターつつい (筒井保育所内)	今村
認知症について考えるつどい	10/15	クローバープラザ	中村
平成 26 年度社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座(春期課程)上級コース	10/17～19	中央福祉学院ロフォス湘南	合原
障がいのある人となない人のスポーツ・レクリエーション交流事業	10/25	北コミュニティセンター	馬場
平成 26 年度高齢者虐待防止・権利擁護研修	10/27	クローバープラザ	馬場
平成 26 年度社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座(春期課程)初級コース	10/28～30	中央福祉学院ロフォス湘南	田端
災害ボランティアセンター連携研修会	11/1	九州ビル	高原
平成 26 年度介護支援専門員実務従事者基礎研修	11/2・11/9・11/20・ 11/25・12/5	福岡市民会館・福岡商工会議所	萩尾
平成 26 年度「第 1 回助成(協働)事業実務者研修会」	11/6	クローバープラザ	岡部
2014 年度社会福祉士実習指導者講習会	11/14・11/15	クローバープラザ	高原
平成 26 年度第 1 回福岡地区地域福祉活動職員連絡会課題別研修会	11/25	春日市社会福祉センター	中村
平成 26 年度第 2 回社会福祉法人経営者セミナー	11/28	九州ビル	小谷
平成 26 年度感染症予防研修(後期)	12/1	大野城まどかぴあ	金丸・田端・光安・古川
平成 26 年度第 2 回福岡県ホームヘルパー連絡会地区研修会	12/3	大野城市総合福祉センター	江島
平成 26 年度法テラス福岡地方協議会	12/5	電気ビル共創館	井上・田端
平成 26 年度災害ボランティアセンター運営管理者研修会	12/9	クローバープラザ	小谷・合原
平成 26 年度ホームヘルプの質を高める研修会	12/15・12/16	全国社会福祉協議会	福島

消費生活サポーター育成講座	12/15・1/16	春日市役所	馬場・高原・中村・粟津・田端
平成 26 年度すこやかエンゼルサポーター事業研修会	12/16	大野城市役所	合原・萩尾・秦・松田・佐々木・茅野
2014 年介護支援専門員研修会	12/16	福岡ソフトリサーチパークホール	阿相
平成 26 年度福祉サービス苦情解決従事者研修会【苦情受付担当者研修】	1/8	クローバープラザ	馬場・高原・中村・粟津
平成 26 年度福祉サービス苦情解決従事者研修会【苦情解決責任者研修】	1/9	クローバープラザ	合原・井上
平成 26 年度社会福祉施設施設職員研修 知的障害者施設職員研修	1/16	クローバープラザ	幸
平成 26 年度「第 2 回助成(協働)事業実務者研修会」	1/20	クローバープラザ	馬場
平成 26 年度福岡県相談支援従事者初任者研修	1/21・2/26・2/27	吉塚合同庁舎	小谷・井上・萩尾
福岡地区ケアマネジャー向け研修会	1/26	福岡県中小企業振興センター	中山
地域をもっと良くするための社会貢献活動セミナー	1/27	JR 九州ホール	合原・馬場・金丸
福岡県介護予防支援センター第9回4地区合同研修会	1/31	TKPカンファランスシティ博多	井上
平成 26 年度筑紫地区企業・事業所同和問題研修会	2/3	大野城まどかびあ	小谷
平成 26 年度筑紫地区 4 市 1 町社協会長・局長会、総務担当者情報交換会	2/9	梅の花太宰府別荘	松田会長・小谷・合原・高原
第 25 回筑紫認知症セミナー	2/17	筑紫医師会館	井上・中山・萩尾・秦・幸・松田 松尾・江島
災害ボランティア活動連携協働研修会	2/18	吉塚合同庁舎	高原
平成 26 年度第 2 回福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会	2/19	クローバープラザ	岡部・今村・橋川・出口
平成 26 年度みんなが主役の元気な地域づくりセミナー	2/23	福岡国際会議場	高原
今さら聞けない慶弔マナー【実践編】	2/24	大野城市商工会	合原・出口・原
平成 26 年度精神障害者家族等支援者研修会	2/25	福岡県精神保健福祉センター	佐々木
平成 26 年度補装具費・日常生活用具研修会	3/1	クローバープラザ	幸
福岡県ホームヘルパー連絡会 テーマ別研修会	3/8	大野城市社会福祉協議会	福島・秦・幸・松田
福岡県地域福祉活動職員連絡会研修事業「住民主体を改めて考える研修会」	3/11	福岡商工会議所	高原
介護報酬改定対策セミナー	3/13	日本生命博多駅前第二ビル	井上
福岡県介護支援専門員協会研修会「平成 27 年度介護報酬改定について」	3/19	福岡市民福祉プラザ	阿相
平成 26 年度地域生活支援ワーカー(CSW)研修会	3/19	福岡商工会議所	高原・金丸
介護報酬改定説明会	3/20	福岡市民会館	伊藤・古川

毎月第 2 土曜日 介護サービス定例研修